

# 北九州地区技術士会活動年史

—45周年記念誌—

2025（令和7）年12月13日

公益社団法人日本技術士会 九州本部  
北九州地区支部支援委員会

## 目次

巻頭言	……1
1 はじめに	……2
2 歴代の九州支部長及び北九州地区代表幹事	……2
3 2021～2025年度 北九州地区支部役員と活動概要	……5
4 資質向上活動	
4-1 月例技術研修会（別紙1）	……14
4-2 企業訪問・施設見学	……14
4-3 公開シンポジウム	……20
4-4 九州本部発行「技術士だより九州」投稿	……30
5 第51回技術士全国大会（熊本・九州沖縄）	……33
6 編集後記	……34
別紙1. 2020（令和2）年度～2025（令和7）年11月までの CPD研鑽会開催実績	……35



## 巻頭言

# 45周年記念誌発刊に寄せて

末松正典（機械、総合技術監理部門）

公益社団法人日本技術士会九州本部・北九州地区支部は1980(昭和55)年に設立された。2025(令和7)年は設立から45年となり、その45周年を迎えるにあつての記念誌発刊にお祝い申し上げます。ここに至ることができたのは、歴代の代表を始めとした幹事や、会員の方々の絶えざるご尽力・ご協力の賜物と察します。45年という長年にわたり、引き続いて各種の記録類を整理し、またまとめてこられた各位のご対応に敬意を表します。本誌には技術士の方々が各分野の技術的発展を目指し、挑戦し、そして奮闘して獲得された成果が凝縮されています。

公益社団法人日本技術士会は、社団法人日本技術士会として1951(昭和26)年に創立後、1957(昭和32)年に技術士法が成立し、翌年の1958(昭和33)年に法律に基づく公益法人として再発足しました。九州支部の創設は1970(昭和45)年6月で、初代支部長は第一復建(株)社長の轟謙二郎氏(建設部門)です。筆者は1994(平成6)年3月22日に機械部門、総合技術監理部門の技術士として登録しました。

この45周年記念号では、主要活動(A)資質向上活動として、環境ミュージアムにおいて毎月行う研修会(月例CPD)や、企業等への外部機関訪問、公開シンポジウム等、多岐に亘り記載されています。これらは北九州地区支部技術士会が発足して以来、約45年の長きに亘り引き継がれています。この研修会の開催方法も、コロナ禍の影響を受け、環境ミュージアムでの現地に加え、Webでの聴講参加も可能な形態となりました。CPDを運営される側の準備と対応の賜物となっています。

新しい技術への挑戦には、多様な情報を知り、獲得することや応用する能力が求められます。そのためには現在保有する能力に磨きをかけることや、新技術創造に挑戦して自分自身を変えていくことが求められます。CPD研修会はこういった機会を与えてくれる場となっています。このような機会を活用し、社会に貢献できる“技術士”を目指したいものです。

(所属：末松技術士事務所)

## 1 はじめに

北九州地区技術士会設立は1980（昭和55）年で、初代の代表幹事は土居貞夫氏（故人）が就任され、当時、CPDは1年に2回実施されていた。1987（昭和62）年に2代目として就任された柴田秀夫氏以降2000（平成12）年までは、CPDは8月のみお休みで年に11回、2001（平成13）年以降は年12回、毎月開催し、2021（令和3）年から8月を除き、年間11回開催している。

公益社団法人日本技術士会 九州本部 北九州地区支部支援委員会では、月例研鑽会（CPD）を2021（令和3）年以降、年間11回（8月を除き毎月）実施している。

その活動を記録し、後世に残すために諸先輩のご努力で、「北九州地区活動年史」を30周年300回記念誌として2011（平成23）年12月17日に、35周年記念誌が2015（平成27）年12月19日に、40周年・CPD400回記念誌が2020（令和2）年12月19日に発行されている。

これらの経緯を基に、2025（令和7）年度の北九州地区支部役員（末松顧問・寺師顧問・小柳顧問及び坂田顧問）を中心として情報提供いただき、牟田代表幹事、宮崎副代表幹事、鈴木副代表幹事、伊藤副代表幹事・各幹事及び各顧問の編集によって、2020（令和2）年度～2025（令和7）年度11月までの活動をまとめた「北九州地区活動年史—45周年記念誌—」を2025（令和7）年12月13日付けで発行することができた。各記念誌は、活動の経緯や内容が後世に引き継がれることを願い、それぞれの5年間の活動をその時代の代表幹事・幹事や顧問の努力により発行されてきた当会の財産である。

## 2 歴代の九州支部長（九州本部長）及び北九州地区代表幹事

下表に歴代の九州支部長（九州本部長）及び北九州地区支部（北九州地区支部支援委員会）代表（委員長）を要約する。

年 度		九州支部		北九州地区		CPD 回数	トピックス			
		九州支部長	代	代表幹事	代					
1965 ～ 1978	S40 ～ 53	轟謙二郎	初代							
1979 1980	54 55	黒瀬正行	2代	土居貞夫	初代	2	北九州地区会合開始は明確でないが、昭和55年から開始と考えられる			
1981 1982	56 57	小幡寛二	3代			2				
1983 1984	58 59	力丸良丸	4代			2				
1985 1986	60 61	野々下金	5代			2				
1987 1988	62 63	土居貞夫	6代			柴田秀夫		2代	11	九州支部の事務所を初開設 (天神「新天ビル」)
1989 1990	H1 2					大村 力		3代	11	
1991 1992	3 4			原井東男	7代	児玉 久	4代	11		
1993 1994	5 6	北原徳雄	5代			11				
1995 1996	7 8	水上信照	8代			江畑賢一	6代	11		
1997 1998 1999 2000	9 10 11 12	川崎迪一	9代	泉館昭雄	7代	11				
						11				
						11				
						11				

2001	13	田中穰治	10代	是永逸生	8代	12					
2002	14					12					
2003	15					12	熊本県技術士会と交流				
2004	16	泉館昭雄	11代	長崎治夫	9代	12	佐賀県技術士会と交流				
2005	17	光岡 毅	12代					12			
2006	18			12							
2007	19			12							
2008	20			12	大分県技術士会と交流						
2009	21			甲斐忠義	13代	末松正典	11代	12			
2010	22	九州本部長 甲斐忠義						12	第1回シンポジウム		
2011	23		12	30周年300回CPD記念誌 発行							
			12	第2回シンポジウム							
2012	24		12	第3回シンポジウム							
2013	25		寺師政廣	12代	12	第4回シンポジウム					
2014	26				12	第5回シンポジウム					
2015	27				12	35周年記念誌発行 第6回シンポジウム					
2016	28				12	第7回シンポジウム					
2017	29	佐竹芳郎	14代	小柳嗣雄 (北九州地区支部支援 委員長)	13代	12	第8回公開シンポジウム				
2018	30					12	第9回公開シンポジウム				
2019	R1					12	第10回記念公開シンポジウ ム				
2020	2					9 (コ ロナ 対策 休会 3 回)	第11回(40周年/CPD 400回記念)シンポジウム 40周年・CPD400回記念誌 発行 CPD会場をKIGS~2月)か ら北九州市立環境ミュージア ム(3月~)へ変更				
							Web配信をコロナ対策とし て試験的に開始				
2021	3							佐倉克彦 (北九州地区支部支援 委員長)	14代	11	Web配信本格運用 第12回公開シンポジウム
2022	4									11	新CPDシステム本格運用 第13回公開シンポジウム
2023	5									坂田一則 (北九州地区支部支援 委員長)	15代
2024	6	11	施設見学会再開 第15回公開シンポジウム								
2025	7	牟田英昭 (北九州地区支部支援 委員長)	16代	11	45周年記念誌発行 第16回公開シンポジウム						

合計 460回

平成23年~九州本部

平成27年~北九州地区支部(運営は、北九州地区支部支援委員会)

45周年記念誌の編集対象期間は2021~2025年の5年間である。

歴代の代表幹事の顔写真を以下に掲載する。



初代  
土居貞夫



第2代  
柴田秀夫  
(35年史巻頭言)



第3代  
大村 力



第4代  
児玉 久



第5代  
北原徳雄



第6代  
江畑賢一



第7代  
泉館昭雄  
(30年史巻頭言)



第8代  
是永逸生



第9代  
長崎治夫



第10代  
松原好直



第11代  
末松正典  
(45年史巻頭言)



第12代  
寺師政廣



第13代  
小柳嗣雄



第14代  
佐倉克彦



第15代  
坂田一則



第16代  
牟田英昭

### 3 2021～2025年度 北九州地区支部役員と活動概要

下表に2021～2025年度の北九州地区支部の代表幹事、副代表幹事、幹事、顧問、会計監事を要約する。

年 度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
代表幹事	佐倉 克彦	佐倉 克彦	坂田 一則	坂田 一則	牟田 英昭
副代表幹事	坂田 一則 宮崎 照美	坂田 一則 宮崎 照美	牟田 英昭 宮崎 照美	牟田 英昭 宮崎 照美 鈴木 淳	宮崎 照美 鈴木 淳 伊藤 陽
総務・会計	鈴木 淳	鈴木 淳	鈴木 淳	鈴木 淳	鈴木 淳 鶴田 靖孝
情報配信担当	伊藤 陽	伊藤 陽	伊藤 陽	伊藤 陽	伊藤 陽 平野 研
CPD（研修） 担当幹事	坂田 一則 伊藤 陽 牟田 英昭 西井 康浩 松永榮八郎 井ノ口章二 河野 公志 (Web 担当)	坂田 一則 伊藤 陽 牟田 英昭 西井 康浩 松永榮八郎 井ノ口章二 河野 公志 (Web 担当)	牟田 英昭 西井 康浩 伊藤 陽 平野 研 松永榮八郎 井ノ口章二 河野 公志 (Web 担当)	牟田 英昭 西井 康浩 伊藤 陽 平野 研 松永榮八郎 井ノ口章二 鶴田 靖孝 河野 公志 (Web 担当)	伊藤 陽 西井 康浩 平野 研 松永榮八郎 井ノ口章二 鶴田 靖孝 瀬々 昌文 河野 公志 (Web 担当)
広報担当幹事	竹内 良治 宮崎 照美	宮崎 照美	宮崎 照美	宮崎 照美 八百屋さやか	宮崎 照美 八百屋さやか 堀内 啓史
幹 事	八百屋さやか	八百屋さやか 平野 研	八百屋さやか 鶴田 靖孝	瀬々 昌文 堀内 啓史	松木 洋忠 林田龍也
幹事数（人）	12	12	12	14	15
顧 問	長崎 治夫 末松 正典 寺師 政廣 小柳 嗣雄	長崎 治夫 末松 正典 寺師 政廣 小柳 嗣雄	末松 正典 寺師 政廣 小柳 嗣雄 佐倉 克彦	末松 正典 寺師 政廣 小柳 嗣雄	末松 正典 寺師 政廣 小柳 嗣雄 坂田 一則
会計監事	寺師 政廣 松永榮八郎	小柳 嗣雄 松永榮八郎	(佐倉 克彦) 小柳 嗣雄 松永榮八郎	小柳 嗣雄 松永榮八郎	坂田 一則 松永榮八郎

## 2020 年度の活動概要

### 1. 北九州地区支部における年次大会・役員会・委員会活動

- ・支援委員長・顧問を含め17名で構成される委員による支援委員会を4回（Web 会議含む）開催した。
  - ・研修委員会（CPD 研修内容の計画立案）を4回（Web 会議含む）開催した。
  - ・北九州地区支部において研修会・見学会の開催等のCPD行事（9回）を中心に活動した。CPD400 回を 40 周年と同時に迎えることが出来た。
- 2020.12月 CPD より、新型コロナウイルス拡大防止対策として、Web 個人配信の試験的運用を開始した。（研修委員；西井氏、伊藤氏、河野氏の御尽力）
- ・北九州地区技術士会活動史（40 周年・CPD400 回記念誌）を編纂（末松顧問、寺師顧問、松原顧問）が行われ、発刊した。

### 2, 行事

- ・12月に KIGS で産学官技術士会協賛の第 11 回 40 周年・CPD400 回記念公開シンポジウムを開催した。
- ・第一次試験説明会は中止した。（第一次試験申込用紙は関係機関へ郵送した）
- ・第二次試験説明会は中止した。（第二次試験申込用紙は関係機関へ郵送した）
- ・施設見学会内容を CPD 研鑽会へ変更して、北九州工業高等専門学校で10月 16 日に開催した。

### 3, その他

- ・連携・協力協定を締結している北九州イノベーションギャラリーとの連携により、KIGS 協賛イベント3回行った。
- ・北九州地区技術士会活動史（40 周年・CPD400 回記念誌）を有償で記念公開シンポジウムにて販売した。

## 2021 年度の活動概要

### 1. 北九州地区支部支援委員会における委員会・年次大会・CPD 活動

#### (1) 委員会

支援委員長・顧問を含め16名で構成される委員による支援委員会を5回開催した。新型コロナウイルス感染症対策として支援委員会は Web 会議（2 回）、メール会議（3 回）にて開催した。

#### (2) 年次大会

6月12日（土）に以下の内容にて開催した。緊急事態宣言発出のため Web 会議とした。

[2020 年度]

- ・活動報告、会計報告及び会計監査報告

[2021 年度]

- ・活動計画、予算案説明

#### (3) CPD 活動

北九州地区支部支援委員会の研修会等の CPD 行事は公開シンポジウムを含めて 11 回開催した。

2020 年度より新型コロナウイルス拡大防止対策として試験運用を開始した Web 個人配信は研修委員の尽力により会場と Web 会議の併用にて実施する体制が整ったので with コロナ/after コロナの新たなツールとして活用が定着した。Web 会議の導入により会場の 3 密が回避できると同時に北九州地区支部支援委員会の活動を遠隔地まで発信できるようになった。

## 2. 行事

### (1) 公開シンポジウム

12 月 11 日(土)に第 12 回公開シンポジウムを開催した。

テーマ:「北九州地域としての SDGs の推進について」

サブテーマ:「産学官民連携による SDGs の推進」

参加者:会場 技術士 22 名、一般参加 8 名

Web 技術士 17 名、一般参加 10 名 計 57 名

### (2) 第一次試験、第二次試験説明会

① 第一次試験説明会:4 月 10 日(土)に会場+Web にて開催した。

② 第二次試験説明会:6 月 12 日(土)に Web にて開催した。

第二次試験申込用紙は関係機関へ郵送した。

### (3) 施設見学会

訪問先への新型コロナウイルス感染防止を考慮して 2020 に引き続き 2021 年度も CPD に変更した。

## 3. その他

### (1) 祝賀会、忘年会等

2020 年度に実施できなかった北九州地区支部支援委員会 40 周年、400 回 CPD 記念祝賀会、一次試験・二次試験合格者祝賀会を 12 月の公開シンポジウム終了後の忘年会行事として計画していたが、2022 年度に延期した。

### (2) CPD 会場の変更

2020 年度まで CPD 会場として使用してきた北九州イノベーションギャラリー(KIGS)の管轄部局が北九州市科学館(スペース LABO)の設立に伴い北九州市産業経済局から子ども家庭局に変更となったので子ども家庭局に 2021 年度以降の継続使用について相談したが、技術士会の活動内容が北九州市科学館としての KIGS 使用の減免措置の対象とならないため、2021 年 3 月より北九州市環境局が管轄する北九州市環境ミュージアムへ変更した。北九州市環境ミュージアムを管轄する北九州市環境局から北九州地区支部が環境保全団体であるとの登録申請が認められたので北九州市環境ミュージアムの使用について減免措置が得られることになった。

## 2022 年度の活動概要

### 1. 北九州地区支部支援委員会における委員会・年次大会・CPD 活動

#### (1) 委員会

支援委員長・顧問を含め 16 名で構成される委員による支援委員会を 5 回開催した。新型コロナウイルス感染症対策として支援委員会は Web 会議(4 回)、メール会議(1 回)にて開催した。

#### (2) 年次大会

6月11日(土)に以下の内容にて会場とWeb会議併用で開催した  
[2021年度]

・活動報告、会計報告及び会計監査報告

[2022年度]

・活動計画、予算説明

### (3) CPD活動

北九州地区支部支援委員会の研修会等のCPD行事は公開シンポジウムを含めて11回開催した。

2020年度より新型コロナウイルス対策として試験運用を開始したにZoomによるWeb配信は研修委員の尽力により体制が整ったので会場とWeb会議との併用が定着した。

### (4) 新CPDシステムの導入開始

2022年2月度より統括本部の新CPDシステムの試験運用を開始し7~12月度の間で従来のメールによる参加登録から新CPDシステムへの参加登録への移行を図った。その結果、従来の参加登録者の把握が改善されたことに加え北九州地区支部支援委員会以外の全国の技術士からのWeb参加が容易となった。

また、新CPDシステムにアクセスできない技術士会非会員の技術士についても2022年10月度よりメールによる参加登録からGoogleフォームによる参加登録への移行を図り参加登録者の把握が改善された。

新CPDシステムとGoogleフォーム導入により月例CPDへの参加登録者の把握は改善されたが、参加費の徴収に課題が残っているため2023年4月より北九州地区支部支援委員会会員のWeb参加者については新CPDシステムの新たな手順の試験運用を開始した。

## 2.行事

### (1) 公開シンポジウム

12月10日(土)に第13回公開シンポジウムを開催した。

テーマ:「北九州地域の循環型経済と脱炭素社会の実現に向けて」

サブテーマ:「デジタルトランスフォーメーション(DX)を切り口として」

参加者:会場 技術士16名、一般参加14名

Web 技術士10名、一般参加13名 計53名

### (2) 第一次試験、第二次試験説明会

①第一次試験説明会:4月9日(土)に会場+Webにて開催した。

②第二次試験説明会:6月11日(土)に会場+Webにて開催した。

第二次試験申込用紙は関係機関へ郵送した。

### (3) 施設見学会

訪問先への新型コロナウイルス感染防止を考慮して2020年以降はCPDに変更している。

## 3.その他

### (1) 祝賀会、忘年会等

2020年度以降、実施できなかった北九州地区支部支援委員会40周年、400回CPD記念祝賀会、一次試験・二次試験合格者祝賀会を12月の公開シンポジウム終了後の忘年会行事として検討したが、統括本部から提示された「新型コロナウイルスへの対応方針」に準拠できる会場の確保が困難であったため2023年度に延期した。

### (2) 北九州地区支部40周年、400回記念誌

2020年12月の発行以降、新規入会者も増加してきたので2022年4月度以降のCPD会場受付等にて希望者へ1,000円/部で販売している。2022年度販売実績10部

今後も新規入会者を中心に販売を継続したい。残部数 約100部

## 2023年度の活動概要

### 1.北九州地区支部支援委員会における委員会・年次大会・CPD 活動

#### (1) 委員会

13名で構成される委員による支援委員会でスタートしたが、2023年6月23日に佐倉前委員長(当時委員)が逝去されたので、以降、12名の支援委員で運営した。新型コロナウイルス感染症対策として支援委員会(兼北九州地区支部幹事会)はWeb会議(4回)、リアル会議(1回)、メール会議(1回)にて計6回開催した。なお、北九州地区支部としては、3名の顧問(委員長経験者)にも参画いただいた。

#### (2) 年次大会

6月17日(土)に16時15分から以下の内容にて会場とWeb配信のハイブリッドで開催した。

[2022年度]

・活動報告、会計報告及び会計監査報告

[2023年度]

・活動計画、予算説明

#### (3) CPD 活動

北九州地区支部支援委員会の研修会等のCPD行事は公開シンポジウムを含めて11回開催した(8月度は休会)。2020年度より新型コロナウイルス対策としてZoomによるWeb配信を試験運用し始めた。研修担当の尽力により体制が整い、会場とWeb配信とのハイブリッドでの実施が定着した。

2024年3月度でCPDは第440回を迎え、上記のWeb配信と後述の新CPDシステム・Googleフォームによる参加登録にした効果もあり、2023年度のCPD参加者総数は504名、内、Web参加者239名(47%)、日本技術士会非会員107名(21%)で、多くの参加者を得て、確実に成果を示すことができた。

#### (4) 新CPDシステムによる参加登録

2022年2月より統括本部の新CPDシステムの試験運用を開始し、2023年度は日本技術士会会員については、新CPDシステムからの参加が定着した。その結果、参加登録者の把握が改善されたことに加え、全国の技術士からのWeb参加が容易となった。

また、新CPDシステムにアクセスできない技術士会非会員の技術士についても2022年10月度より従来のメールによる参加登録からGoogleフォームによる参加登録への移行を図り、参加登録者の把握が改善された。

新CPDシステムとGoogleフォームの導入により月例CPDへの参加登録者の把握は改善された。参加費の徴収については、2023年4月より北九州地区支部支援委員会会員のWeb参加者については新CPDシステムの新たな手順の試験運用(会場支払で登録)を開始、ほぼ定着した。

#### (5) 会費の改定について

CPDの充実のため、3題/月例CPDを維持し、技術士・産・官・学・民バランスがとれた講師を選定してすることに注力しているが、講師謝金・交通費が増大し、図1に示すとおり、会費収入より講師謝金・交通費が大きく上回り、九州本部からの活動補助費他の収入により、運営している状況や図2に示すように総収入から総支出を引いた次年度繰越金は漸減の状況を鑑み、さらに、繰越金を周年事業に向けて積み立てするために、2024年度(2024年4月)から北九州地区支部会費を以下のとおり、改定することを北九州地区支部幹事会で決定した。

日本技術士会会員： 5,000円(2023年度 3,000円)

日本技術士会非会員： 8,000円(2023年度 5,000円)

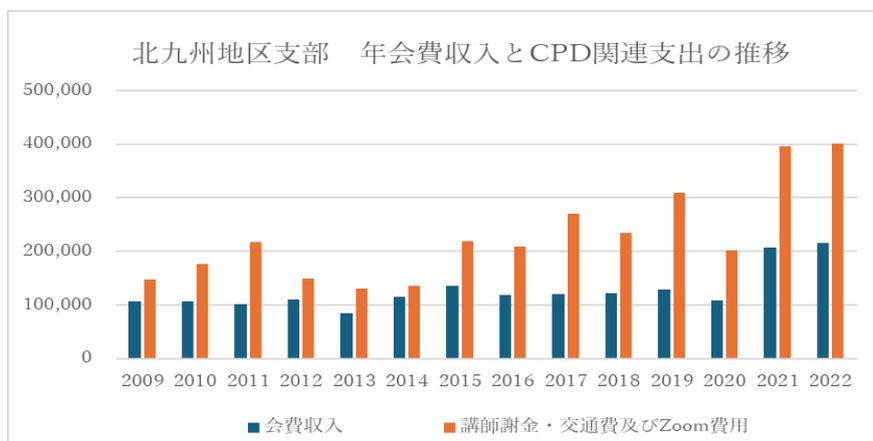


図1. 北九州地区支部 年会費収入とCPD関連支出の推移

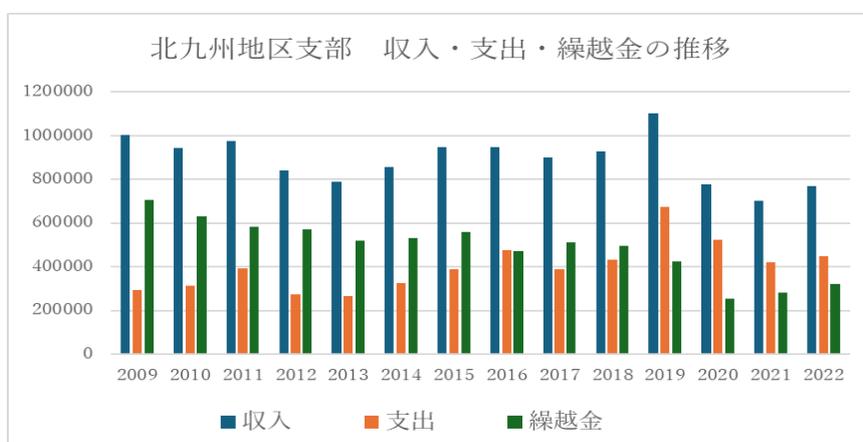


図2. 北九州地区支部 収入・支出・繰越金の推移

(6) 講師謝金の改定について

講師をより依頼しやすくするために講師謝金を2024年度(2024年4月)から表1に示す通りに改定することを幹事会で決定した。改定前は講演時間60分で6,000円であったが、今後のCPD講師によっては、講演時間90分・120分のケースも想定できるので、追加することとした。

表1. 講師謝金(単位:円)

講演時間	60分	90分	120分
技術士	6,014 (5,400)	9,021 (8,100)	12,028 (10,800)
一般 (技術士以外)	9,021 (8,100)	13,532 (12,150)	18,042 (16,200)
参考(九州本部) 技術士	7,000	10,000	都度協議
参考(九州本部) 大学・産業界	15,000	20,000	都度協議

( ) : 源泉徴収(所得税(10%) + 復興税(0.21%)) 後金額

## 2.行事

### (1)公開シンポジウム

12月9日(土)に第14回公開シンポジウムを小倉リーセントホテルにて開催した。

テーマ:「海洋プラスチックごみを生活から考える」

サブテーマ:「～ 今、私たちの技術を使ってできること ～」

参加者:会場 技術士24名、一般参加7名

Web 技術士 25名、一般参加 0名 計66名

### (2) 第一次試験、第二次試験説明会

①第二次試験説明会:4月8日(土)13時～14時に会場+Webにて開催した。

②第一次試験説明会:6月17日(土)13時～14時に会場+Webにて開催した。

第二次試験受験申込み案内は30部九州本部から輸送いただき、24部を関係機関へ郵送した(郵送費6,000円)。

### (3)施設見学会(従来10月度に実施)

訪問先への新型コロナウイルス感染防止を考慮して2020年以降はCPDに変更している。

## 3.その他

### (1)祝賀会、忘年会等

2020年度以降、実施できなかった北九州地区支部支援委員会40周年、400回CPD記念祝賀会、二次試験合格者祝賀会を12月9日第14回公開シンポジウム終了後の忘年会行事として、小倉リーセントホテルにて実施した。結果、技術士35名、講師・一般7名の参加があり、大いに、盛り上がった。

### (2)北九州地区支部40周年、400回記念誌

2020年12月の発行以降、新規入会者も増加してきたので2022年4月度以降のCPD会場受付等にて希望者へ1,000円/部で販売している。2023年度販売実績7部  
今後も新規入会者を中心に販売を継続したい。残部数 約100部

## 2024年度の活動概要

### 1.北九州地区支部支援委員会における委員会・年次大会・CPD活動

#### (1)委員会

14名で構成される委員による北九州地区支部支援委員会(兼北九州地区支部幹事会)はリアル会議(6回)、Web会議(1回)にて計7回開催した。なお、北九州地区支部としては、3名の顧問(委員長経験者)にも参画いただいた。

#### (2)年次大会

6月15日(土)に16時15分から以下の内容にて会場対面とWeb配信のハイブリッドで開催した。

[2023年度]

・活動報告、会計報告及び会計監査報告

[2024年度]

・活動計画、予算説明

#### (3)CPD活動

北九州地区支部支援委員会の研修会等のCPD行事は公開シンポジウムを含めて11回開催した(8月度は休会)。2020年度より新型コロナウイルス対策としてZoomによるWeb

配信を試験運用し始めた。研修担当の尽力により体制が整い、会場と Web 配信とのハイブリッドでの実施が定着した。

2025年3月度で CPD は第451回を迎え、上記の Web 配信と後述の新 CPD システム・Google フォームによる参加登録にした効果もあり、2023年度の CPD 参加者総数 504 名に引き続き、2024年度も 500 名の参加をいただいた。その内訳は、Web 参加者 191 名 (38%)、日本技術士会非会員 88 名 (18%) で、会場参加者は309名 (62%) であった。会場参加者数を2023年度と比較すると2023年度は 265 名であったが、2024年度は309名で、44名の増加となった。会場(対面)で多くの参加者を得て、当委員会の目的である、技術士間の交流に関して確実に成果を示すことができた。

Web 配信においては、パソコン等の機材が古くなり、機材トラブルの発生もあり、更新する必要性が生じている。

#### (4) 新 CPD システムによる参加登録

2022年2月より統括本部の新 CPD システムの試験運用を開始し、2023年度は日本技術士会会員については、新 CPD システムへの参加が定着した。その結果、参加登録者の把握が改善されたことに加え、全国の技術士からの Web 参加が容易となった。併せて、Web 参加者の参加費を九州本部から還元いただくこととなり、2024年度の北九州地区支部の会費の値上げと共に CPD 参加者からの参加費が増加した。

また、新 CPD システムにアクセスできない技術士会非会員の技術士についても 2022年10月度より従来のメールによる参加登録から Google フォームによる参加登録への移行を図り、参加登録者の把握が改善された。

新 CPD システムと Google フォームの導入により月例 CPD への参加登録者の把握は改善された。参加費の徴収については、2023年4月より北九州地区支部支援委員会会員の Web 参加者については新 CPD システムの新たな手順の試験運用(会場支払で登録)を開始、ほぼ定着した。

#### (5) 会費の改定について

CPD の充実のため、3題/月例 CPD を維持し、技術士・産・官・学・民バランスがとれた講師を選定してすることに注力しているが、講師謝金・交通費が増大し、会費収入より講師謝金・交通費が大きく上回り、九州本部からの活動補助費他の収入により、運営している状況や総収入から総支出を引いた次年度繰越金は漸減の状況を鑑み、さらに、繰越金を周年事業に向けて積み立てするために、2024年度(2024年4月)から北九州地区支部会費を以下のとおり、改定し、徴収させていただいた。

日本技術士会会員： 5,000 円(2023年度 3,000 円)

日本技術士会非会員： 8,000 円(2023年度 5,000 円)

結果として、繰越金が2023年度より、224,780 円増加し、2025年度への繰越金が 404,440 円に増加した。

#### (6) 講師謝金の改定について

講師をより依頼しやすくするために講師謝金を2024年度(2024年4月)から表1に示す通りに、源泉税を考慮して改定し、講師謝金を支出した。改定前は講演時間60分で 6,000 円であったが、今後の CPD 講師によっては、講演時間 90 分・120 分のケースも想定できるので、追加することとした。

表1. 講師謝金(単位:円)

講演時間	60分	90分	120分
技術士	6,014 (5,400)	9,021 (8,100)	12,028 (10,800)
一般	9,021	13,532	18,042

(技術士以外)	(8,100)	(12,150)	(16,200)
参考(九州本部) 技術士	7,000	10,000	都度協議
参考(九州本部) 大学・産業界	15,000	20,000	都度協議

( ) : 源泉徴収(所得税(10%) + 復興税(0.21%)) 後金額

## 2.行事

### (1) 公開シンポジウム

12月14日(土)に第15回公開シンポジウムを北九州市生涯学習総合センターにて開催した。

「今、この地域で技術文化の Passion を繋げ!」

～人口減少時代、自分のルーツを考え技術を伝える～

第一部:問題提起「産学官の連携を通して若者が成長しながら幸せに暮らし続けることのできる地域を構築する」

第二部:産・官・民・技術士からの取組み紹介

第三部:パネルディスカッション

参加者:会場 技術士 41名、一般参加 5名 Web 技術士 16名、一般参加 0名 計62名

### (2) 第一次試験、第二次試験説明会

①第二次試験説明会:4月13日(土)13時～14時に会場+Webにて開催した。

②第一次試験説明会:6月15日(土)13時～14時に会場+Webにて開催した。

各受験申込み案内は30部九州本部から送付いただき、24部を関係機関へ郵送した(郵送費6720円)。2025年度からは郵便料金が値上げされたこともあり関係先への案内をe-mailによる案内に変更し、郵送費の節約につなげる。

### (3) 施設見学会

新型コロナウイルス感染症対策による変更以来、4年ぶりに、実施した。10月5日にシャボン玉石けん株式会社を訪問し、工場見学、シャボン玉石けん(株)からの技術講演や商品の販売会など一般参加者6名を含む25名の参加者を得て、環境問題に取り組み企業の状況を知ることができた有意義な見学会であった。

## 3.その他

### (1) 暑気払い

7月13日のCPD研鑽会終了後、暑気払いとして「こつぽ」にて、16名の参加を得て、会員の交流・親睦を図った。

### (2) 祝賀会、忘年会

二次試験合格者祝賀会と忘年会を12月9日第14回公開シンポジウム終了後の忘年会行事として、小倉リーセントホテルにて実施した。結果、技術士36名、講師・一般3名の参加があり、大いに、盛り上がった。

### (3) 情報交流会

CPD 研鑽会が終了後、北九州市環境ミュージアム近くの東田エコクラブにて技術講演の講演者にも参加いただき、情報交流会を開催した。2025年度から会場都合で実施できなくなり、残念である。

### (4) 北九州地区支部40周年、400回記念誌

2020年12月の発行以降、新規入会者も増加してきたので2022年4月度以降のCPD会場受付等にて希望者へ1,000円/部で販売している。2024年度販売実績3部 今後も新規入会者を中心に販売を継続したい。残部数 約100部

## 4 資質向上活動

### 4-1 月例技術研修会（別紙1）

別紙1. に2020（令和2）年度～2025（令和7）年度途中の月例技術研修会の講演タイトル・講演者等の記録を示す。

### 4-2 企業訪問・施設見学

「技術士よ、外にでよ！」の一環として、技術士の存在をアピールするため、地元企業を10月に訪問していたが、2020（令和2）年4月の新型コロナウイルス感性症対策として、緊急事態宣言が発出されて以来、2020（令和2）年10月は北九州高専を会場としてCPDを行い、2021（令和3）年～2023（令和5）年の3年間は企業訪問・施設見学は中止して、月例研鑽会をタカミヤ環境ミュージアムに於いて、実施した。

新型コロナウイルス感性症が終息した2024（令和6）年10月には企業訪問・施設見学を再開し、シャボン玉石けん(株)を訪問し、施設見学並びに技術交流を行い、商品購入で、御礼に代えた。2025（令和7）年10月は、TOTO アクアテクノ株式会社にて、施設見学並びに技術交流を行った。

表1に、2008年以降の企業訪問・施設見学の実績を示す。

表1 企業訪問先と講演内容（敬称略）

年度	訪問先	企業からの講演	技術士会からの講演
2008	(株)日立金属若松	「圧延ロールの製造法および複合超硬ロール＝Duplex＝の開発」 服部 敏幸【金属部門】	「表面処理や腐食のあれこれ」 土山 明美【金属部門】
2009	富士岐工産(株)北九州工場	「最新の溶射技術について」 坂田一則【金属部門】	①「太陽電池ビジネスの課題と将来展望及び最新開発動向」高島修【機械部門】 ②「日本技術士会の概況説明、技術士試験の勧め」甲斐忠義【九州支部長・建設部門】
2010	北九州イノベーションギャラリー（KIGS）	「地域のイノベーション」 寺西 大三郎【KIGS館長】	「維持規格と供用適性評価の現状」 安西 敏雄【金属部門】
2011	日本鑄鍛鋼(株)	焼割れ未然防止技術の開発～数値解析技術の実用化～ 福谷理明【日本鑄鍛鋼(株)技術開発部】	「Ni基超合金の鍛造及び熱処理の技術開発動向」 宮田守次【金属部門】
2012	北九州市日明浄化センター・ウオータープラザ	「北九州市の下水道行政について」 村田 健司【上下水道部門】	「北九州市における生物処理の変遷」 寺師 政廣【上下水道部門】
2013	シャボン玉石けん(株)	「石けんの新たなる可能性～温故知新」 川原 貴佳【研究開発部】	「界面活性剤の化学特性とその環境影響について」 宮崎 照美【環境部門、博士】
2014	(株)戸畑製作所	「難燃性マグネシウム合金の実用化・研究開発について」 松本 敏治【常務取締役 営業部技術センター統括 博士】	「鑄鉄材料の強度評価」 松永 榮八郎【金属・機械部門】

2015	国土交通省九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所・港湾空港水理実験センター	「下関技調の業務概要」 南 正治【下関技調・調査課長】	「海岸環境における海象の再現技術」 西井 康浩【建設部門、博士】
2016	穴生浄水場	「北九州の水道」 南雲伸司 【上下水道部門】	「水道建設における改善事例について」 村田健司【上下水道部門】
2017	日本水産(株) (戸畑)	ニッスイパイオニア館(ニッスイの過去・現在・未来を幅広く展示した施設)見学	「水産の現状と課題」松原千恵 【建設・水産部門】
2018	北九州PCB処理事業所	PCBの基礎及び歴史について学んだ後、施設のDVD鑑賞、二班に分かれての施設見学	「PCB処理施設建設に関わる現場体験談」吉田剛【経営工学部門】
2019	岡野バルブ製造(株)行橋工場	「高温・高圧バルブ技術の歴史と展望」原口祐樹【技術士補(機械部門)・岡野バルブ製造(株)技術本部】	「金属粉末の成形・鍛造技術の進歩—鑄造・鍛造技術の新分野AM展開へ—」宮田守次【金属部門】
2020	北九州高専(月例研鑽会実施)	「産学官連携デジタルものづくり」久池井茂【北九州高専教授】	「暗号通信とインターネット」河野公志【技術士補 情報工学部門】
2021	中止(月例研鑽会として実施)		
2022	中止(月例研鑽会実施)		
2023	中止(月例研鑽会実施)		
2024	シャボン玉石けん(株)	「概要説明・施設見学(工場見学)」前田博昭【(株)シャボン玉本舗】 「新規プラントの設計と現場実装 ～石けん工場ならではの難しさと工夫～」古市 真【シャボン玉石けん(株)製造部 部長】	
2025	TOTO アクアテクノ株式会社 本社・小倉工場	「私たちの生活や産業に欠かせない表面処理技術」河本理之 【金属/総合技術監理・TOTO(株)】	「プロセスコンピュータシステム～ 効率生産と生産統制のための生産プロセス制御(管理)～」野村利則【情報工学/総合技術監理・野村技術士事務所】

## 2020（令和2）年度 施設見学会に代えて出張月例 CPD

日時：2020年10月16日 13:00~17:00

会場：北九州工業高等専門学校

坂田顧問「技術士だより・九州 第126号 冬季号（令和3年1月15日発行）」記事

## 北九州地区支部 令和2年度 CPD 活動報告

さかた かずのり  
坂田 一則

(金属、総合技術監理、博士(工学)・北九州)

### 北九州高専でのCPD開催報告

令和2年10月16日（金）に北九州工業専門学校 教授 久池井様のご協力により、10月度CPDを北九州工業高等専門学校「ものづくりセンター」にて開催し、会員20名の参加を得た。CPDとして、以下の3題の講演が行われた。

①「産学官連携デジタルものづくり」

北九州工業高等専門学校教授 久池井氏

②「DX時代の生産性向上設備事例ご紹介」

ミシマ・オーエーシステム株式会社取締役落合氏

③「暗号通信とインターネット」

福岡芝浦電子株式会社 河野氏（修習技術士：電気・電子）

講演の一環として、北九州工業高等専門学校「ものづくりセンター」内の生産性向上設備等の実例を説明いただいた（写真1）。第四次産業革命の推進が今後の日本の産業界で叫ばれている中、最新のデジタル技術を学ぶことができた。

最後に、施設見学会に丁寧に対応していただいた取締役製造統轄兼生産統括部長 佐藤様を始め、関係者の皆様に心からお礼申し上げます。



写真1. 北九州高専でのCPD

## 2024（令和6）年度 施設見学会

日時：2024年10月5日 13:00～16:30

会場：シャボン玉石けん株式会社（北九州市若松区南二島 2-23-1）

### 1 スケジュール

13:00 集合

13:15 概要説明 前田 博昭氏（株）シャボン玉本舗 石けんアドバイザー（20分）

13:35～15:15 工場見学（100分）

15:20 技術講演 古市 真氏 シャボン玉石けん(株)製造部部长（40分）

演題：新規プラントの設計と現場実装 ～石けん工場ならではの難しさと工夫～

16:00 質疑応答・意見交換（20分）

16:20 会務報告（坂田委員長）

16:30 終了 現地解散

2 担当 案内係：技術士会 牟田（080-1745-8396、muta-san@jcom.home.ne.jp）

駐車場係：技術士会 瀬々（080-1723-2349）

3 参加者 鶴田、鈴木、瀬々、牟田、坂田、中村友紀、井ノ口、大串、大串（妻）、小柳、村田、宮崎、平野、中尾、中尾（妻）、姫野、八百屋、堀内、松木、永江、村上碧、林田、山本正治、深堀（九大） 24名

4 CPD 3.0時間

5 反省会 沖縄居酒屋 はんじろう折尾店離れ（八幡西区折尾 4-7-23 駅から3分）

### 6 写真



写真1. 施設見学会

## 2025（令和7）年度 施設見学会

日時：2025年10月10日（金）13:00～17:00

会場：TOTO アクアテクノ株式会社 本社・小倉工場（北九州市小倉南区朽網東5-1-1）

### 1 スケジュール

12:30 集合

12:50 工場内3階 会議室に入室完了

13:00 会社概要説明及び工場見学

TOTO(株)及びTOTO アクアテクノ(株)スタッフ1階で集合写真 (90分)

14:40 技術講演1 河本理之氏 技術士（金属/総合技術監理）TOTO(株)機器水栓技術部

演題：私たちの生活や産業に欠かせない表面処理技術 (50分)

質疑応答・意見交換 (10分)

15:50 技術講演2 野村利則氏 技術士（情報工学/総合技術監理）野村技術士事務所

演題：「プロセスコンピュータシステム」～ 効率生産と生産統制のための生産プ

ロセス制御（管理）～ (50分)

質疑応答・意見交換 (10分)

16:50 会務報告（牟田委員長）

(5分)

17:00 終了 現地解散

2 CPD 3.0時間

3 参加者 井ノ口、牟田、鈴木、鶴田、後藤恒一、水野、松永、姫野、田中、松木、中村星朗、野村、本山、永江、結城、瀬々、山本、河本、堀内、辻井（北九大）、深堀（九大） 21名

### 4 まとめ

製造工程の見学の後、質疑応答を行なった。工場内は従業員の数よりもロボットの方が多い印象を受けた。また河本氏から「表面処理技術について」、野村氏から「生産プロセスのコンピュータ制御」について講義を受けた。

(1) 鋳造工程：鋳物の高品質と高歩留まりを実現する成型技術

(2) 機械工程：高速切削技術とそれを実現する刃工具技術

(3) 研磨工程：ロボット研磨技術と匠の研磨技能

(4) めっき工程：高品質と外観を実現する表面処理技術

(5) 組立工程：セル生産ラインとロボット組立技術

(6) PVD工程：様々な加飾外観を実現する表面処理技術

## 5 写真



## 6 取りまとめ

技術士会 北九州地区支部 牟田

### 4-3 公開シンポジウム

#### ▶ 開催を企画するに至った経緯

私たち公益社団法人日本技術士会九州本部北九州地区支部は、2010（平成 22）年度より活動計画「社会に認められる技術士としての資質を維持・向上できるよう活動する」および「地域社会に貢献できる活動を活発化する」の方針を掲げ、今年度も主要方針をそのまま引き継ぎ、日々研鑽に励んでいる。このような活動の下、2010（平成 22）年度より新たな試みとして、われわれ技術士の CPD 研修はもちろんのこと、一般市民も対象とする次のような公開シンポジウムを開催してきた。いずれも多数の参加をいただき、有意義な成果を得ることができた。表 1 に推移・概要を示す。

表 1. 公開シンポジウムの推移・概要

日時 参加者数 (PE/一般/合計)	メインタイトル (M) サブタイトル (S)	A 基調講演者 B コーディネータ	講演者・パネラー
第 1 回 (2010.12.18) 52/22/74 名	M：北九州地区からグリーン・イノベーションを考える S：アジアの中での新成長戦略	A：白井義人(九工大) B：垣迫裕俊 (PE)	・(産) 新地哲己：芝浦グループ ・(学) 坂井美穂：日本文理大 ・(官) 飯塚誠：アール低炭素化セタ 柴田泰平：北九州市役所 ・(PE) 末松正典
第 2 回 (2011.12.17) 61/11/72 名	M：今このとき、災害リスクマネジメントを考える S：1000 年に一度の大震災・津波災害を経験して	A：橋本典明 (九大) B：西井康浩 (PE)	・(学) 奥山恭英：北九州市立大 ・(学) 加藤尊秋：北九州市立大 ・(官) 郡山一明：北九州市役所 ・(PE) 矢ヶ部秀美
第 3 回 (2012.12.8) 42/28/70 名	M：エネルギーの現状と将来を考える S：安全性に配慮した適切なエネルギーバランスとは	A：持田勲 (九大) B：末松正典 (PE)	・(産) 水町豊：九州電力 ・(学) 平木講儒：九工大 ・(学) 出光一哉：九大 ・(官) (PE) 村上恵美子
第 4 回 (2013.12.21) 45/13/58 名	M：コミュニケーション能力向上ワークショップ S：こうすれば、あなたの技術はわかりやすく伝わります	○セミナー講師： 関野弘 (毎日新聞社) B：宮崎照美 (PE)	※専門用語を読者に噛み砕いて伝える方法を講演。 ・慣用語、表現法 ・差別用語 など
第 5 回 (2014.12.20) 52/16/68 名	M：介護・福祉・医療を支える技術、産業、社会システムを考える S：技術立国・日本が向かう高齢化社会	A：蜂須賀研二 (九州労災病院) B：堀田源治 (PE)	・(産) 権頭喜美恵 (もやい聖友会) ・(産) 堀内啓史 (TOTO) ・(学) 大丸幸 (九州栄養福祉大) ・(官) 柴田泰平 (北九州市役所) ・(PE) 松崎一成
第 6 回 (2015.12.19) 43/9/52 名	M：プロフェッションと技術者 S：社会に求められる技術者とは	A：日野伸一 (九大、技術士会九州本部顧問) B：西井康浩 (PE)	・(産) 小柳嗣雄 (日揮触媒化成・PE) ・(学) 赤星保浩 (九工大) ・(官) 園田澄利 (KIGS) ・(官) 山田修司 (元北九州市役所・PE)
第 7 回 (2016.12.17) 40/19/59 名	M：教育の視点からみる地域振興 S：地域で産業・技術を担う人材の育成に向けて	A：鹿毛浩之 (KIGS 館長) B：垣迫裕俊 (PE)	・(産) 大野圭司 ((株)ジブノオト) ・(学) 城戸宏史 (北九州市立大) ・(施設) 中村順子 (社会福祉法人・幸徳会) ・(PE) 永岩研一

第8回 (2017.12.16) 45/11/56名	M:歯と工学と健康 S:健康寿命が長い、安心・安全な社会を構築するための歯学・工学の融合	A:鱒見進一 (九州歯科大) B:小柳嗣雄(PE)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(学)竹中繁織(九工大)</li> <li>・(学)清水博史(九州歯科大)</li> <li>・(官)仲山智恵(北九州市役所)</li> <li>・(PE)松原好直</li> </ul>
第9回 (2018.12.15) 34/16/50名	M:北九州から海外への環境技術移転 S:北九州の強みを活かし、アジアなどのグローバル需要を取り込む海外ビジネスの形成	A:伊藤 洋 (北九州市立大) B:佐倉克彦(PE)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(産)松尾康志(楽しい(株))</li> <li>・(学)上江洲一也(北九州市立大)</li> <li>・(官)村上恵美子(北九州市)</li> <li>・(PE)村田健司</li> </ul>
第10回 (2019.12.21) 57/37/94名	M:人工知能の進展と未来 S:AIの強味(光)、弱点(影)	A:石川眞澄(九工大) B:西井康浩(PE)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(産)下岡純一郎((株)クアンド)</li> <li>・(学)田向権(九工大)</li> <li>・(官)林孝標(国交省九地整)</li> <li>・(PE)牟田英昭(北九州市、PE)</li> </ul>
第11回 (2020.12.19) 55/55名	北九州地区支部40周年・CPD400回 M:北九州地区技術士会の今後の展開のストーリーを考える	A: B:寺師政廣(PE)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(PE)佐竹芳郎:九州本部長</li> <li>・(PE)末松正典:北九州地区支部顧問</li> <li>・(PE)寺師政廣:同上</li> <li>・(学)伊藤洋:北九大</li> <li>・(PE)平野研:北九州市役所</li> <li>・(学&amp;PE)堀田源治:九工大</li> </ul>
第12回 (2021) 44/13/57名	M:北九州地域としてのSDGsの推進について	A:眞鍋和博(北九大) B:小柳嗣雄(PE)	<p>進行:(PE)小柳嗣雄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学)眞鍋和博(九工大)</li> <li>・(官)上田ゆかり(北九州市役所)</li> <li>・(産)網岡健司</li> <li>・(民)秋葉祐三子</li> <li>・(PE)八百屋さやか</li> <li>・(PE)小柳嗣雄</li> </ul>
第13回 (2022.12.10) 26/27/53名	M:北九州循環経済の目指すべき姿	A:松本亨(北九大) B:佐倉克彦(PE)	<p>進行:(PE)佐倉克彦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学)松本 亨</li> <li>・(民)林 志浩</li> <li>・(産)松尾 康志</li> <li>・(民)八百屋さやか(PE)</li> <li>・(PE)西尾 行生</li> <li>・(PE)佐倉克彦</li> </ul>
第14回 (2023.12.9) 43/23/66名	M:海洋プラスチックごみを生活から考える S:今、私たちの技術を使ってできること	A:清野聡子(九大) B:牟田英昭(PE)	<p>進行:(PE)牟田英昭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学)清野聡子</li> <li>・(官)赤田篤史</li> <li>・(学)林 英治</li> <li>・(産)古市 真</li> <li>・(産)芳賀裕之</li> <li>・(民)権田幸祐</li> <li>・(民)山崎 唯</li> </ul>
第15回 (2024.12.14) 48/14/62名	M:今、この地域で技術文化のミッションを繋げ! S:人口減少時代、自分のルーツを考え技術を伝える	A:深堀聡子(九大) B:牟田英昭(PE)	<p>進行:(PE)牟田英昭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(学)深堀聡子</li> <li>・(官)中川 茂俊</li> <li>・(産)藤島 聡</li> <li>・(産)井上 龍子</li> <li>・(PE)鶴田 靖孝</li> </ul>

## 2020（令和2）年度

### 北九州地区技術研修会（北九州地区 40 周年 400 回記念公開シンポジウム）の報告

メインタイトル：北九州地区技術士会の今後の展開のストーリーを考える

会場：北九州産業技術 保存継承センター（北九州イノベーション ギャラリー：KIGS）

期日：2020 年 12 月 19 日（土曜日）

小柳顧問「技術士だより九州 第 127 号 春季号（令和3年4月15日発行）」記事

### 北九州地区支部の 40 周年・400 回記念シンポジウム



小柳 嗣雄  
(化学・総監、工学博士)

#### 1) 40 周年・400 回記念シンポジウムの概要

九州本部北九州地区支部主催の北九州地区技術士会設立 40 周年・CPD400 回開催記念シンポジウムを 2020 年 12 月 19 日（土曜日）13 時 00 分～17 時で、福岡県北九州市八幡東区の北九州産業技術保存継承センター（北九州イノベーションギャラリー：KIGS）と Web 配信において開催いたしました。会場には、45 名、Web 配信には 11 名で合計 55 名のご参加を頂き、講師の先生方、また開催を準備頂きました北九州支援委員会の委員の御尽力のお陰で盛大に開催出来ました。また、この記念シンポジウムに合わせて北九州地区支援委員会が編纂した「北九州地区技術士会活動年史～40 周年・CPD400 回記念誌～」を有料で配布させて頂きました。ご参加・購入を頂きました会員の皆様方にも重ねて御礼を申し上げます。

#### 2) 記念シンポジウムの内容

記念シンポジウムのテーマは「北九州地区技術士会の今後の展開のストーリーを考える」でした。基調講演 2 題を御発表頂きました。1 題目は、九州本部の佐竹芳郎本部長の基調講演「土木の真髄は利他の心～国土に働きかけて恵みを頂く」、2 題目は、末松正典・寺師政廣北九州地顧問による「北九州技術士会 40 年の歩み」でした。パネル発表では、北九州市立大学の伊藤洋先生、北九州市技術士会を代表して平野研様、九州工業大学技術士会を代表して堀田源治先生に発表を頂きました。この後、寺師コーディネーターと上記メンバーによるパネルディスカッションが御熱心に行われました。

#### 3) 記念シンポジウムのまとめ

今後の北九州地区支部の展開として、CPDには時代の流れを掴む講師の導入、技能士との連携、若手PEによる発表、先輩PEの経験談等、後継者育成には産学官連携強化等、知名度向上には公開シンポジウム等の開催方法等を検討する必要がある。会員拡大については、退会者を

減らす事が優先という結論になった。日本の再興戦略として「Society 5.0」（超スマート社会）の実現が掲げられ、多くの企業が取り組み始めている。Society 5.0 は、2050 年ごろの社会の“あるべき姿”とされており、北九州地区支部でも 2030 年をメドにこれからの技術士会の活動を、具体化していきたい。以上、記念シンポジウムに相応しい素晴らしい網羅的な結論が出来上がりました。

#### 4) 北九州地区技術士会の変遷と 40 周年記念誌

九州本部傘下の北九州地区技術士会の設立は、九州支部が設立された 1965 年から 15 年後の 1980 年である。初代の代表幹事は土居貞夫氏（土居工業(株)社長）である。土居氏は九州支部長に就任された 1987 年、北九州地区代表幹事を退任された。その後は、(2)柴田秀夫、(3)大村力、(4)児玉久、(5)北原徳雄、(6)江畑賢一、(7)泉館昭雄、(8)是永逸生、(9)長崎治夫、(10)松原好直、(11)末松正典、(12)寺師政廣、(13)小柳嗣雄と、任期 2～4 年毎に引継いでいる（敬称を省略）。現在の幹事は代表以下 10 数名で活動を行っている。しかし、この 40 周年記念の年に、長きに亘り北九州地区技術士会の発展に御尽力頂いた是永逸生先生と松原好直先生がお亡くなりになりました。

また設立当初から実施してきた CPD（講演会）は、1980 年から 1986 年の期間は年 2 回、1987 から 2000 年の期間は年 11 回、その後は年 12 回開催し、2020 年は 400 回目を迎えたことから、CPD400 回の記念イベントを行った。創立記念誌は、30 周年(2011.12.17)、35 周年 (2015.12.19)の際にも作成したが、冊子にはせずに印刷したものをクリアファイルで閉じる簡易版とした。今回の 40 周年記念誌は両者を含めてまとめ、書籍として発行した。

#### 5) 結語

最近 10 年のこの北九州地区支部の活動の大きな環境変化として、①KIGS 様との共催活動②九州本部からの正式な CPD 認定と活動費支援③KIGS 様との共催の公開シンポジウムなど CPD 研鑽内容の公衆への情報発信の場を持つことが出来た点でした。

今から 40 年前の第一回 CPD は、1980 年になります。バブル経済の大きな要因となるプラザ合意の 5 年前で高度経済成長から安定成長に時代でした。2度のオイルショックも乗り越えて、自動車生産量もアメリカを超えた時代でした。この北九州地区技術士会をスタートさせて先輩諸氏の想いは、日本のモノづくりとしての益々の発展とそれに伴う、技術士の社会的役割の重要性・プレゼンスを高めることにあったのではと私は考えています。しかし、その後の日本は怒涛の時代の始まり、そして現代は、少子高齢化、第 4 次産業革命時代、生産性の低下と時代変遷があります。この時代の大変革時に今後の北九州地区技術士会の未来に対して素晴らしい議論が出来き、非常に有意義であったと考えています。北九州地区支部技術士会の発展に対して、今後も会員の皆様方の御指導・御鞭撻を頂くようお願いして、記念シンポジウムの報告とさせていただきます。

## 2021（令和3）年度 第12回公開シンポジウム）の報告

メインタイトル：北九州地域のSDGsの推進 について

サブタイトル：～産学官民連携によるSDGsの推進～

会場：北九州市環境ミュージアム

期日：2021年12月1日（土）

宮崎副代表 「技術士だより九州 第130号 春季号（令和4年4月15日発行）」記事

### 北九州地区支部 支援委員会活動報告

みやざき てるみ

宮崎 照美

（環境・北九州 副代表、広報）



#### 1. はじめに

北九州地区支部第12回公開シンポジウムが2021年12月1日（土）、13～17時、北九州市環境ミュージアムとWeb配信の併用で開催され、＜会場＞技術士会22名、一般8名、＜Web＞技術士会17名、一般10名、計57名の方に参加いただいた。



現在の活動拠点；北九州市環境ミュージアム

#### 2. 公開シンポジウム概要

今回のプログラムは「北九州地域のSDGsの推進について～産学官民連携によるSDGsの推進～」と題して3部構成とし、北九州地域でも盛んに取り組まれている事例、自分事として工夫してSDGsに取り組んでいる重要な事例を紹介した。

##### 2.1 第1部 基調講演

北九州市立大学の真鍋和博教授が「SDGsを企業経営に取り入れる意義と方法」について講演した。

2015年に国連にて採択されたSDGsがここに来て急速にその認知が進んでいるが、企業経営にとっては、取り組まなければリスクにさえなってしまう状況が生まれて来ている一方で、ビジネスチャンスでもある。地球の環境を元に戻していくことや、人々が暮らしやすい社会を構築することに対して、新しい技術や商品が求められているとも言える。

この講演では、SDGsが私たちに何を投げかけているのか



基調講演する真鍋教授

をその背景から探ってき、企業としてどのようにSDGsに取り組んで行けば良いのか、その手法も含めて解説した。

## 2.2 第2部 プレゼンテーション

**発表 1**：上田ゆかり氏（北九州市企画調整局 SDGs 推進室室長）「SDGs 未来都市・北九州市の取組みについて」 **発表 2**：網岡健司氏（㈱エックス都市研究所九州事業所参与）「世界進化遺産・八幡東田と「KAMIKURU」プロジェクト」 **発表 3**：秋葉祐三子氏（NPO 法人あそびとまなび研究所代表）「子どもたちが今、ここで出会う暮らしの中のSDGs かぐやひめプロジェクトとくきのうみこどもフードパントリー」 **発表 4**：八百屋さやか氏（技術士（衛生工学部門））「技術とSDGs」

行政、企業、子供達と接する女性、技術士の各発表者がそれぞれの立場でのSDGsとの係り、今後の方向性などについて紹介した。

## 2.3 第3部 パネルディスカッション

小柳嗣雄氏（技術士（化学・総監）、博士（工学）、前北九州地区代表、（写真、左））がコーディネーターとなり、コメントーターの真鍋和博教授（左から2番目）、パネラーの上田ゆかり氏（左から3番目）、網岡健司氏（右から3番目）、秋葉祐三子氏（右から2番目）、八百屋さやか氏（右）が

- ①北九州としてのSDGsの推進の状況と今後
  - ②地域創生・活性化としてのSDGs活動について
  - ③組織（会社や非営利団体など）でのSDGs活動の実行の留意点とは
  - ④技術士会（自分事として）のSDGs活動のコンパスの作り方
- の4つの論点でディスカッションを行った。



パネルディスカッション風景

## 3. おわりに

今回の公開シンポジウムは技術士会だけでなく、市民にも参加いただき議論した。その結果、今まではSDGsを単なる知識として学ぶ事が多かったが、今回は、技術士としての専門分野や実績をどのように活かせばよいかを自分自身の身近な課題として実感することができた。また、女性や子ども達にも技術士会の活動を理解していただけるきっかけになった。

所属：日鉄環境株式会社

## 2022（令和4）年度 第13回公開シンポジウム）の報告

メインタイトル：北九州循環経済の目指すべき姿

サブタイトル：～DXを切り口として～

会場：北九州市環境ミュージアム

期日：2022年12月10日

坂田顧問 「技術士だより九州 第135号 春季号（令和5年4月15日発行）」記事

### 【公開シンポジウムの開催】

令和4（2022）年12月10日に九州本部主催で第13回の公開シンポジウムを53名（一般市民27名を含む）の参加を得て、開催した。

佐竹九州本部長から開会の挨拶の後、基調講演は「北九州循環型経済の目指すべき姿」をテーマに北九州市立大学 松本亨教授に行っていた。

次にプレゼンテーションとして、以下の5氏に登壇いただいた。

①塩田 淳氏（北九州市環境局） 「可能な限り安価な再エネ100%電力化を目指して」

②林 志浩氏（（公財）地球環境戦略研究機関） 「北九州循環経済ビジョンの社会循環について」

③松尾康志氏（㈱ウエルクリエイト代表取締役社長） 「北九州循環経済ビジョンの自然循環について」

④八百屋さやか氏（NPO法人フードバンク北九州） 「フードバンクの取組とDXへの期待」

⑤西尾行生氏（日本技術士会九州本部幹事） 「循環型経済と脱炭素社会の実現に向けたDX」

「北九州地域の循環型経済と脱炭素社会の実現を目指して ～DXを切り口として～」をテーマにコメンテーター：松本 亨氏、コーディネーター：佐倉克彦氏（北九州地区支部）、パネラー：セミナープレゼンター5名 と聴講者も参加して、パネルディスカッション（図2）を行い、有意義な研鑽ができたと確信する。



図2. パネルディスカッション

## 2023（令和5）年度 第14回公開シンポジウム）の報告

メインタイトル： 海洋プラスチックごみを生活から考える

サブタイトル： 今、私たちの技術を使ってできること

会場：小倉リーセントホテル

期日：2023年12月9日

坂田顧問 「技術士だより九州 第139号 春季号（令和6年4月15日発行）」記事

北九州地区支部支援委員会

### 2023年度第14回

### 公開シンポジウム・交流会実施報告

さかた かずのり  
坂田 一則

(金属, 総合技術監理, 博士(工学)・北九州)

#### 1. はじめに

2023年12月9日13時から北九州地区支部第14回公開シンポジウム及び北九州地区支部創立40周年記念交流会と技術士二次試験合格祝賀会を小倉リーセントホテルにて、九州本部から佐竹本部長他のご参加をいただき開催した結果を以下、報告する。

#### 2. 第14回公開シンポジウム

「海洋プラスチックごみを生活から考える～今、私たちの技術を使ってできること～」をテーマに、66名（会場41、Web25）の参加者を得て開催した。

第一部は、基調講演「海洋環境分野に関する問題提起～海ごみ問題：変化する市民・企業の関わり方～」を九州大学 清野聡子准教授に行っていただき長年の研究・活動に基づく問題提起が行われた。

次に、第二部のパネルディスカッションでは、モデレーターを清野准教授として、以下の6氏にパネラーとして登壇いただいた。

- ① 赤田篤史氏:宗像市総務部秘書政策課
- ② 林 英治氏:九州工業大学 教授
- ③ 古市 真氏:シャボン玉石けん(株) 製造部長
- ④ 芳賀裕之氏:㈱エコエナジー 代表取締役
- ⑤ 権田幸祐氏:(一社) シーズンズ代表理事
- ⑥ 山崎 唯氏:(一社) くらげれんごう代表理事

第三部として、「解決に向けて何ができるか」について、パネラー向けに参加者（技術士・一般参加者）から事前に質問を提出いただき、活発で有意義な議論を行い、ディスカッション内容を図1.のように会場できりまとめ、内容の共有を図った。



写真1. パネルディスカッション

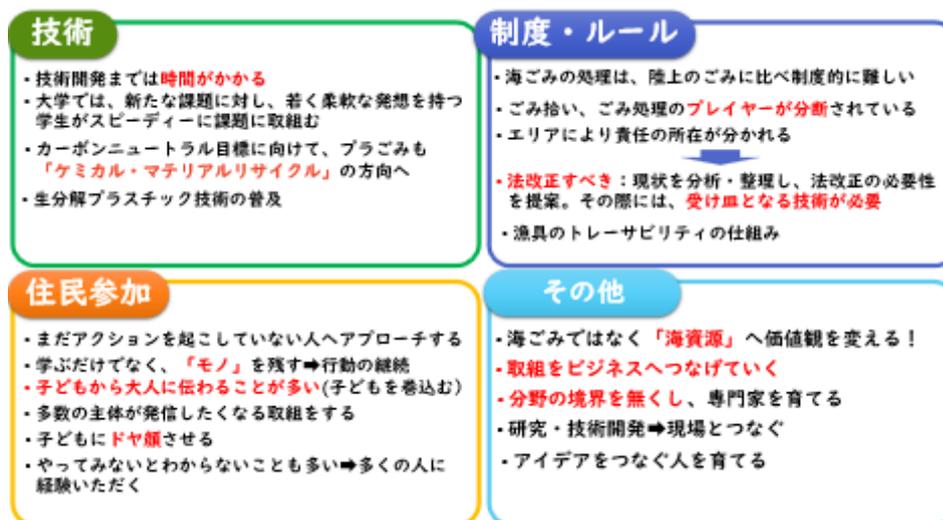


図1. ディスカッションのまとめ

### 3. 北九州地区支部創立 40 周年記念交流会と技術士二次試験合格祝賀会

同日・同会場にて、17 時 30 分からコロナ禍で延期していた北九州地区支部創立 40 周年記念交流会と技術士二次試験合格祝賀会を開催した。4 年ぶりの対面での開催で、技術士 34 名、講師 7 名、一般 2 名の計 43 名の参加があった。技術士間、公開シンポジウムの講師・パネラー及び一般参加者と交流・懇親を深めることができた。



写真2. 交流会会場での記念写真

### 4. 終わりに

公開シンポジウム・交流会の開催に当たり、牟田副代表・宮崎副代表を中心に幹事一丸となって取り組むことができ、北九州地区支部として新しい足跡を残すことができた。今後共、技術士会を発展させるために力を合わせて参る所存です。

所属：坂田一則 技術士・労働安全コンサルタント事務所

2024（令和6）年度 第15回公開シンポジウム）の報告  
メインタイトル：今、この地域で技術文化の情熱を繋げ  
サブタイトル：人口減少時代、自分のルーツを考え技術を伝える  
会場：北九州市生涯学習総合センター  
期日：2024年12月14日（土）

坂田顧問「技術士だより九州 第143号 春季号（令和7年4月15日発行）」記事抜粋

北九州地区支部支援委員会

## 2024年度下期活動実施報告

北九州地区支部支援委員会

さかたかずのり

委員長 坂田一則（金属・総監，北九州）

### 【第15回公開シンポジウム】

2024年12月14日（土）13時から九州本部主催で北九州市生涯学習総合センター3階ホールを会場として、「今、この地域で技術文化の情熱を繋げ！」～人口減少時代、自分のルーツを考え技術を伝える～をテーマに、第一部で深堀 聡子氏（九州大学 未来人材育成機構教授）の問題提起、第二部において 産・官・民・技術士からの取組みを紹介し、第三部ではパネルディスカッションを実施した。

会場参加 46名（北九州地区支部 34名，九州本部関係 6名，講師 4名，市民 2名），Web 参加 16名（長崎県支部 1名，大分県支部 2名，千葉県 1名，三重県 1名，北九州 11名），合計 62名の参加で，熱い議論を行うことができた。



写真1. 深堀教授 問題提起

### 【合格祝賀会及び忘年会】

公開シンポジウム終了後，会場を小倉リーセントホテルに移して，技術士合格者祝賀会と会員相互の交流事業として忘年会（懇親会）を技術士 35名，合格者 2名，シンポジウム登壇者 3名（計 40名）の参加を得て開催した。合格者の苦勞談や抱負を伺うことができ，参加者の交流も深まった楽しいひと時であった。



写真2. 集合写真（合格者祝賀会及び忘年会）

#### 4-4 九州本部発行「技術士だより九州」投稿

下表に「技術士だより九州」に投稿いただいた投稿者の一覧を示す。なお、下表は広報委員会の宮崎照美氏がまとめられたものである。

技術士だより九州	原稿依頼日	表紙	巻頭言
126号(2021.01) 127号(2021.04) 128号(2021.07) 129号(2021.10)	2020.11 2021.02 2021.05 2021.08		
130号(2022.01) 131号(2022.04) 132号(2022.07) 133号(2022.10)	2021.10 2022.01 2022.04 2022.07	八百屋さやか(衛生工学)	
134号(2023.01) 135号(2023.04) 136号(2023.07) 137号(2023.10)	2022.10 2023.01 2023.04 2023.07		
138号(2024.01) 139号(2024.04) 140号(2024.07) 141号(2024.10)	2023.10 2024.01 2024.04 2024.07	宮崎照美(環境)	末松正典(機械・総監)
142号(2025.01) 143号(2025.04) 144号(2025.07) 145号(2025.10)	2024.10 2025.01 2025.04 2025.07		

技術士だより九州	私の提言	声の広場	支部だより
126号(2021.01) 127号(2021.04) 128号(2021.07) 129号(2021.10)	佐倉克彦(化学)	河本理之(金属) 寺師政廣(上下水道)	河野公志(情報工学) 宮崎照美(環境)
130号(2022.01) 131号(2022.04) 132号(2022.07) 133号(2022.10)		河本理之(金属) 西井康浩(建設・7I0-)	吉田剛(経営工学) 宮崎照美(環境)
134号(2023.01) 135号(2023.04) 136号(2023.07) 137号(2023.10)	坂田一則(金属・総監)	牟田英昭(建設・総監)	松永栄八郎(金属、機械) 井ノ口章二(機械)
138号(2024.01) 139号(2024.04) 140号(2024.07) 141号(2024.10)		瀬々昌文(金属)	鈴木淳(電気電子・総監) 平野研(建設・総監)
142号(2025.01) 143号(2025.04) 144号(2025.07) 145号(2025.10)	牟田英昭(建設・総監)	松木洋忠(建設)	鶴田靖孝(電気電子) 八百屋さやか(衛生工学)

技術士だより 九州	CPD 報告・予定	ミニ特集	修習技術者の声
126号(2021.01) 127号(2021.04) 128号(2021.07) 129号(2021.10)		末松正典(機械・総監) 水野晴彦(建設・総監) 井ノ口章二(機械) 門田考治(化学)	荒井智宏(化学)
130号(2022.01) 131号(2022.04) 132号(2022.07) 133号(2022.10)	宮崎照美(環境)	納富信(機械) 西井康浩(建設・7iD-) 小柳嗣雄(化学・総監) 鍾廣喜(建設・総監)	
134号(2023.01) 135号(2023.04) 136号(2023.07) 137号(2023.10)		山田 修司(建設・総監) 綿巻 倫(上下水道) 鶴田靖孝(電気電子) 高倉弘二(環境・衛生)	室秀峰(金属)
138号(2024.01) 139号(2024.04) 140号(2024.07) 141号(2024.10)		河本理之(金属) 瀬々昌文(金属) 藤井実(建設) 吉田剛(経営工学)	
142号(2025.01) 143号(2025.04) 144号(2025.07) 145号(2025.10)		本田 誠(建設) 河野公志(情報工学) 伊藤陽(建設・水産) 福土文夫(建設)	

技術士だより 九州	若手技術士の声	私のチャレンジ	熟練技術士の声
126号(2021.01) 127号(2021.04) 128号(2021.07) 129号(2021.10)		伊藤陽(建設・水産)	
130号(2022.01) 131号(2022.04) 132号(2022.07) 133号(2022.10)			寺師政廣(上下水道)
134号(2023.01) 135号(2023.04) 136号(2023.07) 137号(2023.10)		野村利則(情報・総監)	
138号(2024.01) 139号(2024.04) 140号(2024.07) 141号(2024.10)	小野貴也(建設)		垣迫裕俊(建設・総監)
142号(2025.01) 143号(2025.04) 144号(2025.07) 145号(2025.10)		瀬々昌文(金属)	

技術士だより 九州	会員の多様な声	地域の話
126号(2021.01) 127号(2021.04) 128号(2021.07) 129号(2021.10)	牟田英昭 (建設・総監)	
130号(2022.01) 131号(2022.04) 132号(2022.07) 133号(2022.10)		原田光博 (電気電子)
134号(2023.01) 135号(2023.04) 136号(2023.07) 137号(2023.10)	企業/伊藤陽 (建設・水産)	平野研 (建設・総監)
138号(2024.01) 139号(2024.04) 140号(2024.07) 141号(2024.10)		堀内啓史 (機械)
142号(2025.01) 143号(2025.04) 144号(2025.07) 145号(2025.10)		

「技術士だより・九州」は、公益社団法人日本技術士会 九州本部 ホームページ ([広報・行事 | 公益社団法人 日本技術士会九州本部](#)) に掲載されているので、各位の投稿記事は読むことができます。

## 5 第51回技術士全国大会（熊本・九州沖縄）

2025年（令和7年）10月25日（土）～10月28日（火）に第51回技術士全国大会（熊本・九州沖縄）が、「かたろう技術のミライ×つなごう技術のチカラ～集え～火の国・水の国～」をテーマに開催された。九州本部が担当する技術士全国大会は、2014年（平成26年）の福岡大会以来11年ぶりで、北九州地区支部支援委員会委員7名が第4分科会のスタッフとして運営に携わった。

牟田代表「技術士だより九州 第146号 冬季号（令和8年1月15日発行予定）」記事

### 全国大会・意見票から見えること

む た ひであき  
牟田 英昭

（建設・総監・北九州地区委員長）



第4分科会は、本部1名、北九州地区7名、大分1名、熊本1名のスタッフで運営。参加者約90名で、意見票42票を回収した。その一部を紹介する。

（育成手法について）

▼欧米では教育のコンピテンシーとしてマネジメントや実践が挙げられるが、日本の大学教育ではこれが不足していると思う。電気・機械・原子力

▼当社では、新入社員の定着率が低く困っている。その中で「はばたき」と言われると、なお退職していく若者が増えるように思う。どのように関連付けたらよいのか？建設

（マインドについて）

▼マルチな収入源で生活の基礎を、というフレーズに感銘を受けた。現在、副業禁止の「閉じた職場」にいる。リスクはあるが、自らの幸福のためには独立するのが最も良いのだろうか。（47歳）応用理学・地質

（関係機関の役割について）

▼JABEE→IPD→CPDの流れはとても重要。JABEEの取得強化に向け、技術士会として何か良い方策はあるか。農業

（国際的同等性について）

▼海外の優れたエンジニアが日本の社会で幸福に活躍できるための、日本の風土を作っていくには、どうすればよいか？金属・建設

▼技術士は永久ライセンス。エビデンスとしてCPD認定があり、この仕組みの活用が課題。建設（感想）

▼移動の大切さ、他の組織で習得したことを証明するなど、今まで考えたことのなかったことを学べた。建設

▼企業として技術士の正当な評価をどうすべきか、技術士の役割を考えさせられた。建設

▼大学・専門学校等での技術士の認知度・評価を高めていかないと、若い人材は育っていかない。同時に特に大企業での認知度・評価も高めないとしぼんでいく。大学と企業の技術者を接点とした連携が重要。金属

▼うーん、難しいです。なかなか、このようにはできないですねえ。上下水道

（牟田技術士事務所）

## 6. 編集後記

「北九州地区技術士会活動史～40周年・CPD400回記念誌～」が2020（令和2）年12月19日に発行されてから、早いもので、約5年が経過した。北九州地区支部は1980（昭和55）年に設立され、その後、いろいろな変遷を経ながら、45周年を迎えることができたのは、偏に、先輩技術士の方々のご尽力の賜である。

本誌は北九州地区支部（北九州地区支部支援委員会）の2020（令和2）年12月19日から2025（令和7）年12月13日までの5年間の活動内容の記録を2025（令和7）年度北九州地区支部役員が中心となってまとめたもので、電子情報のみでの発行である。多くの方から資料のご提供を受けたので、フォントの違い、図・表番号及び用語に統一性がないことはご容赦いただきたい。

2020（令和2）年4月から2025（令和7）年11月までの約5年間で簡単に振り返る。

2020（令和2）年4月7日に安部元首相から新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が発出され、福岡県もその中に含まれた。それ以降、月例CPD研鑽会が4月から6月までの3カ月間中止を余儀なくされ、対面（会場のみ）での開催以外の方策を模索する必要性が生じ、2020（令和2）年12月CPDより、新型コロナウイルス拡大防止対策として、Webによる個人配信の試験的運用を開始した。この試みは、日本技術士会の中でも、魁となるものであった。

2021（令和3）年度からCPD研鑽会において本格的にWeb配信を実施し、対面とWebの併用やWebのみの開催も実施し、北九州地区支部会員以外の参加を可能とした。さらに、北九州地区支部の活動拠点としていた「北九州産業技術保存継承センター（北九州イノベーションギャラリー：KIGS）」が2021（令和3）年3月からの休館措置等により、2021（令和3）年4月より北九州市環境局が管轄する北九州市環境ミュージアム（現：タカミヤ環境ミュージアム）へCPD会場を変更した。また、2022（令和4）年2月より統括本部の新CPDシステムの試験運用が開始された。

2022（令和4）年度7～12月の間で従来のメールによる参加登録から新CPDシステムへの参加登録への移行を図った。その結果、従来の参加登録者の把握が改善されたことに加え、北九州地区支部以外の全国の技術士からWeb参加が容易となった。そのシステム変更手続きに当時の支援委員会委員長（北九州地区支部代表）の佐倉氏は統括本部との調整や北九州地区支部内の体制構築で大変ご苦労をされた。

2023（令和5）年度は会員向けの新CPDシステムと九州本部HP掲載及び非会員参加の申込方法をGoogleフォームに変更したことにより利便性が増し、CPD年間参加者数は500人を超えた。

2024（令和6）年度は、CPDの充実のため各界（各地）から講師を招聘した結果、北九州地区支部の財務状況に課題が生じたので、北九州地区支部会費の値上げを支部会員の了解の下、実施し、50周年事業に向けた資金の積み増しが可能となった。支部会費の値上げで、CPD参加者数の減少が懸念されたが、CPD年間参加者数は2年連続で500人を超えた。

2025（令和7）年度は、役員の高齢化と北九州地区の技術士数の減少が懸念される中、役員（幹事）の若返りを図るために、幹事数を2024年度から引き続き増員している。これから、50周年に向けた新たな取り組みが期待される。

最後に、この5年間で、当会に多大なる貢献をされた先輩の方々が故人となられた。技術士としてのご活躍に敬意を表すると共に、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

2025（令和7年）12月13日  
45周年記念誌編集委員会一同

## 2020(令和2)年度 CPD研鑽会開催実績

開催日	場 所	会議・行事の内容	参加者数 (うち、会員外)
2020 (R2).4.11		中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止)	0 (0)
2020 (R2).5.16		中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止)	0 (0)
2020 (R2).6.20		中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止)	0 (0)
2020 (R2).7.18	北九州イノベーション ション ギャラリー	KIGS 調査報告①「北九州における水ビジネス海外展開の歴史と発展」赤木 純子氏((公財)地球環境戦略研究機関 北九州 アーバンセンター リサーチマネージャー、 技術講演②「電解オゾン生成用電極の開発」金田 和博氏(応 用理学、山口東京理科学教授)	48 (21)
2020 (R2).8.22	北九州イノベーション ション ギャラリー	技術講演①「福岡県リサイクル総合研究事業化センターの紹介」 篠原 裕治氏(リ総研 課長)、 技術講演②「ナノテクノロジーと熱輸送現象」宮崎 康次氏(九 州工業大学教授 ) 技術講演③「土砂災害から九州を考える」林 孝標氏(建設・国 土交通省 )	36 (6)
2020 (R2).9.19	北九州イノベーション ション ギャラリー	KIGS 調査報告「北九州におけるリサイクル技術の歴史と発展」 大矢仁史氏、他(北九州市立大学)、 技術講演①「アフリカの持続可能な開発の支援に携わった10年 ほどを振り返って」三戸俊和氏(北九州産業学術推進機構・国連 HABITAT)	50 (22)
2020 (R2).10.16	北九州工業 高等専門学 校	技術講演①「産学官連携デジタルものづくり」久池井 茂 教授 (北九州工業高等専門学校)、 技術講演②「DX時代の生産性向上設備事例ご紹介」 ～日本の第4次産業革命を支える技術的支援会社が身近にいる ことを伝えたい～落合 誠司氏(ミシマ・オーエー・システム株式会 社(北九州工業高等専門学校 客員教授))、 技術講演③「暗号通信とインターネット」河野 公志 氏(福岡芝 浦電子(株))	22 (0)
2020 (R2).11.21	北九州イノベーション ション ギャラリー	KIGS 技術系統化調査報告会「自動車用ベアリング技術の系統 化調査」室谷周良氏(元国立科学博物館 主任調査員)、 技術講演②「熱延ロールの破壊に対するリスク対応」松永榮八 郎氏(金属・機械)	53 (30)

2020 (R2).12.19	北九州イノベーション ショウ ギャラリー	第11回 40周年・CPD400 回記念公開シンポジウム 基調講演①:「土木の真髄は利他の心～国土に働きかけて恵みを頂く」九州本部 本部長 佐竹 芳郎氏 基調講演②:「北九州地区支部 40年の歩み」北九州地区支部 顧問:末松 正典氏、寺師 政廣氏 プレゼンテーション 北九州市立大学教授 伊藤 洋氏, 九州工業大学技術士会:堀田 源治氏、 北九州市役所技術士会:平野 研氏; パネルディスカッション 「北九州地区技術士会の今後の展開のストーリーを考える」 (コメンテーター)佐竹 芳郎氏、 (パネラー)伊藤 洋氏:堀田 源治氏:平野 研氏: 末松 正典氏、 (コーディネーター):寺師 政廣氏	55 (2)
2021 (R3).1.16	北九州イノベーション ショウ ギャラリー	技術講演①「新しい科学技術基本法の下での新技術活用の方 向性と今後の展望」安福規之氏(九州大学教授)、 技術講演②「技術者倫理シリーズ～第3回「技術者のリスク倫 理と責務」西井康浩氏(建設・博士)、 技術講演③「感染症 VS 歯科」松崎友祐氏(歯科医)	31 (2)
2021 (R3).2.20	北九州イノベーション ショウ ギャラリー	技術講演①「パレートの法則がわかると仕事も世の中も見えてく る」宮田守次氏(金属)、 技術講演②「ものづくりのためのデータサイエンス活用方法」石 田雄二氏(西工大教授) 技術講演③「水環境の計測と評価」高見徹氏(西工大教授)	30 (1)
2021 (R3).3.13	北九州イノベーション ショウ ギャラリー	技術講演①「先端的な科学計測とデータサイエンスの理想的な 協働へ向けて」徳永旭将氏(九工大准教授)、 技術講演②「排泄介護機器の技術動向」堀内啓史氏(機械・ TOTO)、 技術講演③「色々な水処理」赤石維衆氏(建設・衛生・総監)	34 (1)

359人

第一次・二次試験説明会(合格者祝賀会)の開催実績

	開催年月日	会場	参加者(人)		その他 特記事項
			会員 (正会員及 び準会員)	非会員	
第一次試験 合格祝賀会	2020年6月22日	中止			申込用紙は各機関 へ郵送
第二次試験	2020年4月11日	中止			申込用紙は各機関 へ郵送

## 2021(令和3)年度 CPD研鑽会開催実績

開催日	講演タイトル	所属・役職・部門	講師名	参加者数
2021(R3).4.10	技術講演①「企業における社員教育・組織管理の最適化・効率化実践～マネジメント分野における「BEST理論」の応用」	日進コンサルタント株式会社建設部次長 建設・上下水道・総監部門技術士	鐘 廣喜	48[web10] (9)
	技術講演②「地盤の耐震工学」	山口大学大学院創成科学研究科教授	兵動正幸	
2021(R3).5.8	技術講演①「次世代システム研究会の経過と現状」	九州国際大学次世代システム研究所 所長	岡本久人	33[web10] (3)
	技術講演②「Analysis of leakage current and Short circuit fire」	鈴木技術士事務所 所長 電気・電子部門技術士	鈴木真吾	
	技術講演③「医薬品製造業における製販分離—原薬メーカーを中心とした制度変化の影響分析—」	株式会社エーピーアイコーポレーション環境安全グループ 化学部門技術士	門田孝治	
2021(R3).6.12	技術講演①「波動関数の実空間観測」	福岡工業大学工学部 電気工学科 准教授	鈴木恭一	37[web37] (8)
	技術講演②「アフターコロナ・ウィズコロナの時代をどう対応すべきか」	有限会社エムケイブレーン 取締役社長 中小企業診断士	槇本健次	
2021(R3).7.10	技術講演①「洋上中継器および自律型海中ロボットを用いた完全無人海底探査」	九州工業大学大学院生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻准教授	西田祐也	32[web12] (3)
	技術講演②「門司港レトロ地区における港湾整備について」	北九州市港湾空港局港湾整備部 主幹	木原義幸	
	技術講演③「生産性向上の基礎とDXについて」	小柳労働安全コンサルタント・技術士事務所 代表 化学・総合管理部門 技術士 博士(工学)	小柳嗣雄	
2021(R3).9.11	技術講演①「超高耐圧ダイヤモンド・パワー半導体の実現に向けて」	九州工業大学大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 准教授	渡邊晃彦	36[web36] (1)
	技術講演②「海外で知った博士号の重要性と味覚を扱った研究での学位取得」	株式会社アステック 細胞科学研究所 主任 生物工学部門技術士博士(学術)	緒方貴宏	
	技術講演③「最近の圧電素子性能とその応用技術」	ミヤタハイメック品質技術研究所 所長 金属部門技術士	宮田守次	
2021(R3).10.9	技術講演①「H24/H29 九州北部豪雨・R2 熊本豪雨時の国土交通省(TEC-FORCE)の活動記録」	国土交通省九州地方整備局 九州技術事務所品質調査課 専門職 建設・総監部門技術士	古賀忠直	43[web22] (3)
	技術講演②「航空機産業への参入支援」	福岡県工業技術センター機械電子研究所 所長	小野幸徳	
	技術講演③「DX(デジタルトランスフォーメーション)時代の機械技術」	株式会社テックメイク 機械・総合管理部門技術士	中村徳昭	
2021(R3).11.13	技術講演①「AIによるデータ駆動型研究が拓く創薬と医療」	九州工業大学 大学院情報工学研究科 生命化学情報工学研究系 教授	山西芳裕	(5) 36[web19]
	技術講演②「日本の労働衛生・産業保健管理 “これまで”と“これから”」	産業医科大学 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授	森晃爾	
	技術講演③「世界一のモノ作りについて」	香月技術経営コンサル士事務所 代表 技術士 金属部門技術士	香月俊幸	
2021(R3).12.11 北九州	技術講演①「SDGs を企業経営に取り入れる意義と方法」	北九州市立大学 地域創生学群 教授	眞鍋和博	57[web27] (18)
	技術講演②「SDGs未来都市 北九州」	北九州市企画調整局 SDGs 推進室	上田ゆかり	

	市の取組みについて」	室長		
	技術講演③「世界進化遺産 八幡東田「KAMIKURU」プロジェクト」	エックス都市研究所九州事業所 参与	網岡健司	
	技術講演④「子どもたちが今、ここで出会う暮らしの中の SDGs かぐやひめプロジェクトとくきのうみこどもフードパントリー」	NPO 法人あそびとまなび研究所 代表	秋葉祐三子	
	技術講演⑤「技術と SDGs」	エックス都市研究所九州事業所研究員 衛生工学部門技術士	八百屋さやか	
	⑥パネルディスカッション	小柳労働安全コンサルタント・技術士事務所 代表 化学・総監部門技術士 博士(工学)	小柳嗣雄	
2022(R4). 1.8	技術講演①「県産リサイクル認定制度の紹介」	福岡県環境部循環型社会推進課	山田一美 本多芹菜	45[web23] (7)
	技術講演②「ホームサービスロボットのための脳型人工知能とハードウェア」	九州工業大学大学院生命体工学研究科 教授	田向権	
	技術講演③「工学における安全設計・事故対策の考え方」	九州大学名誉教授	野口博司	
2022(R4). 2.12	技術講演①「室内環境の微生物制御～微生物と正しくつきあう～」	北九州市立大学国際環境工学部 教授	森田洋	49[web33] (4)
	技術講演②「道路舗装業界における脱炭素化社会へ向けた取組と共生に向けて」	前田道路株式会社 九州支店 北九州合材工場 工場長 建設部門技術士	桂田哲郎	
	技術講演③「北九州市の都市交通政策」	北九州市建築都市局 計画部 都市交通政策課長 建設・総監部門技術士	平野研	
2022(R4). 3.12	技術講演①「ベトナム中規模都市の変化と自然発生的食品廃棄物リサイクルのゆくえ: 10年間の追跡調査」	北九州市立大学国際環境工学部 教授	加藤尊秋	42[web22] (4)
	技術講演②「コンポスト化の基礎理論～高倉式コンポスト～」	高倉環境研究所 代表 衛生工学・環境部門技術士 博士(工学)	高倉弘二	
	技術講演③「シニア創業論～正しい想いは必ず実現する～自立への道・事業を創る・技術を社会に役立てる」	コンサルティングオフィス エクセルシア 代表 金属・総監部門技術士	松下滋	

カッコ内は非会員の人数

458名

#### 第一次・二次試験説明会の開催実績

	開催年月日	会場	参加者(人)		その他 特記事項
			会員 (正会員及び 準会員)	非会員	
第一次試験	2021年6月12日	web開催	Web 37	8	web開催 申込用紙は各機関 へ郵送
第二次試験	2021年4月10日	北九州市環境ミュージアム	48 (web 10)	9	会場+web開催 申込用紙は各機関 へ郵送

## 2022(令和4)年度 CPD研鑽会開催実績

開催日	講演タイトル	所属・役職・部門	講師名	参加者数
2022年 4月9日	技術講演①「すべての子どもが大切にされる社会を目指して」	NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン 理事長	原田昌樹	36[web16] (6)
	技術講演②「技術士会九州本部・統括本部の活動状況と今後について」	(公社)日本技術士会九州本部 副本部長 機械・総監部門 技術士	末松正典	
2022年 5月14日	技術講演①「八幡東田地区におけるSDGs達成に向けた実証プロジェクトの展開について」	八幡東田まちづくり連絡会 会長	網岡健司	36[web13] (7)
	技術講演②「ステイホームで広がる次世代の冷凍食品戦略」	極東ファデー(株)取締役 商品経営本部長	吉水請子	
	技術講演③「令和2年秋の叙勲 瑞宝単光章受章報告 -溶射技術開発・人財育成支援の航跡-」	金属・総監部門 技術士 博士 (工学)	坂田一則	
2022年 6月11日	技術講演①「カーボンフリーに向けた国内外の地熱資源の利用開発の取組みについて」	応用理学部門 技術士 博士 (工学)	田籠功一	63[web37] (10)
	技術講演②「再生可能エネルギー分野における電気機器イノベーション」	八幡電機精工(株)技術部部長	宮本恭祐	
2022年 7月9日	技術講演①「プラスチック循環社会の実現を目指して~PETボトルの先進事例に学ぶ」	西日本ペットボトルリサイクル(株) 代表取締役社長	千々木亨	33[web19] (5)
	技術講演②「航空ビジネスの起業と将来展望」	スターフライヤー ビジネスサービス代表取締役社長	宮島俊司	
	技術講演③「地域におけるSociety5.0/DXの実現」	長崎県企画部政策監	三上建治	
2022年 9月10日	技術講演①「OGI電池が変える社会」	電気・電子部門 技術士	鶴田靖孝	38[web18] (11)
	技術講演②「室内光を使って殺菌、抗ウイルス、抗カビ機能をもつナノ構造制御型次世代光触媒材料の開発と産学連携による商品化」	九州工業大学 大学院 工学研究院物質工学研究系 教授	横野照尚	
	技術講演③「ふくおかエコ農産物ってなあに？」	福岡県農林水産部	古嶋慧 中村咲稀	
2022年 10月8日	技術講演①「独学で拓く!~多彩な分野にチャレンジし続けた半生~」	北九州市立大学名誉教授	伊藤洋	43[web25] (8)
	技術講演②「新媒体”イオン液体”が実現する人と地球環境にやさしい化学~高校生は知っている!新しい媒体”イオン液体~」	大分大学理工学部共創理工学科応用化学コース准教授	信岡かおる	
	技術講演③「水素ガスを用いた高速フレイム溶射技術とその皮膜特性」	金属・総監部門 技術士 博士 (工学)	坂田一則	
2022年 11月12日	技術講演①「Youtube 動画・ブログを通じた集客の留意点と今後の展開」	化学部門 技術士、弁理士	下田正寛	34[web18] (9)
	技術講演②「半導体・集積回路の技術要素、および社会情勢」	九州工業大学大学院工学研究院基礎科学研究系 教授	中尾基	
	技術講演③「適正技術と社会実装について~開発途上国の現場から~」	環境、衛生工学部門 技術士 博士(工学)	高倉弘二	
2022年 12月10日	技術講演①「北九州循環経済の目指すべき姿」	北九州市立大学国際環境工学部都市エネルギーマネジメント研究センター長	松本 亨	53[web23] (27)
	技術講演②「北九州循環経済ビジョンの社会循環について」	(公財)地球環境戦略研究機関 北九州アーバンセンタープログ	林 志浩	

		ラム・ディレクター	
	技術講演③「北九州循環経済ビジョンの自然循環について」	(株)ウエルクリエイト 代表取締役会長	松尾 康志
	技術講演④「フードバンクの取組とDXへの期待」	NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン理事	八百屋さやか
	技術講演⑤「循環型経済と脱炭素社会の実現に向けたデジタルトランスフォーメーション」	機械部門 技術士、博士(工学)	西尾 行生
	パネルディスカッション	化学部門 技術士、博士(工学)	佐倉克彦
2023年 1月14日	技術講演①「知っているのがあたりまえ」の言葉の壁～専門用語について考える～」	科学技術コミュニケーション研究所 代表	泉 優佳理
	技術講演②「風力発電関連産業の総合拠点の形成 ～グリーンエネルギーポートひびき～」	北九州市港湾空港局エネルギー産業拠点化推進課 課長	園 順一
	技術講演③「地域課題である竹を循環型材料の資源へ」	九州工業大学大学院生命体工学研究科 准教授	安藤義人
2023年 2月11日	技術講演①「カーボンニュートラル達成に向けたJ-クレジット活用モデル」	環境テクノス(株)代表取締役 社長	鶴田直
	技術講演②「交通・物流から考える北九州の未来」	西日本工業大学 学長	片山憲一
	技術講演③「3次元設計」	野中 3D 研究所 所長	野中智博
2023年 3月11日	技術講演①「上司・指導者になる前に知っておきたいベンチャービジネス教育のいろは」	有明工業高等専門学校, 創造工学科 准教授	石川洋平
	技術講演②「形状記憶ポリマーを用いた剛性と感度を可変のロボット」	九州工業大学 大学院生命体工学研究科 准教授	高嶋一登
	技術講演③「市民参加によるまちづくり」	下関市立大経済学部 経済学科 教授	竹内裕二

カッコ内は非会員の人数

462人

### 第一次・二次試験説明会の開催実績

	開催年月日	会場	参加者(人)		その他 特記事項
			会員 (正会員及び 準会員)	非会員	
第一次試験	2022年6月11日	北九州市環境ミュージアム Zoom 会議併用	63 (web 37)	10	会場+web 開催 申込用紙は各機関 へ郵送
第二次試験	2022年4月9日	北九州市環境ミュージアム Zoom 会議併用	36 (web 16)	6	会場+web 開催 申込用紙は各機関 へ郵送

## 2023(令和5)年度 CPD研鑽会開催実績

開催日	講演タイトル	所属・役職・部門	講師名	参加者数
2023年 4月8日	技術講演①「層序学の方法と北部九州の地質」	バイオテックス	岩尾雄四郎	61 [web27] (11)
	技術講演②「海の環境の市民科学と教育」	九州大学	清野聡子	
2023年 5月13日	技術講演①「生物多様性に配慮した地域づくりの事例」	日本文理大学	池畑義人	43 [web20] (7)
	技術講演②「子どもたちが今いるここで～持続可能な居場所づくり活動 コロナ禍を乗り越えたひびきの base から生まれた取り組み～」	あそびとまなび研究所	秋葉祐三子	
	技術講演③「生物多様性と私たちの暮らしの繋がりに」	呉高専	小倉亜紗美	
2023年 6月17日	技術講演①「圧延ロールの内部起点疲労破壊の強度評価法」	九州工業大学 名誉教授	野田尚昭	39 [web17] (9)
	技術講演②「北欧スウェーデンの歩みと暮らし ～科学技術コミュニケーション研究所 科学や技術史の視点から～」	科学技術コミュニケーション研究所	泉優佳理	
2023年 7月8日	技術講演①「地球のまわりには危険がいっぱい」	九州工業大学	赤星保浩	39 [web21] (8)
	技術講演②「特別な酵素で癌を診断する」	九州工業大学	竹中繁織	
	技術講演③「固体と固体を混ぜると液体になる!～深共晶溶媒のイロハ～」	大分大学	信岡かおる	
2023年 9月9日	技術講演①「大学での技術者倫理教育の実践について」	北九州市立大	辻井洋行	50 [web26] (9)
	技術講演②「水素脆化について」	九州工業大学	薦田亮介	
	技術講演③「トマトロボット競技会を通じたトマト収穫ロボットの開発」	九州工業大学	石井和夫	
2023年 10月14日	技術講演①「相変化伝熱」	西日本工業大学	鶴田隆治	41 [web21] (10)
	技術講演② 地図は語る	ゼンリンミュージアム	新井啓太	
	技術講演③「北九州商工会議所の活動概要と技術士会と商工会議所との連携について」	北九州商工会議所	能美育恵	
2023年 11月11日	技術講演①「福岡県で経験してきた「中小企業振興」と「新産業創出」	直轄産業振興センター	神谷昌秀	39 [web18] (6)
	技術講演②「プラスチック資源循環を促進する革新的形成プロセス」	福岡大学	八尾滋	
	技術講演③「データとデジタル技術を活用したビジネスモデルの変革」	グランド印刷	小泊勇志	
2023年 12月9日	第14回公開シンポジウム 「海洋プラスチックごみを生活から考える ～今、私たちの技術を使ってできること～」			66 [web25] (23)
	① 海洋環境分野に関する問題提起～海ごみ問題	九州大学	清野聡子	
	② パネルディスカッション モデレーター:清野聡子	宗像市総務部秘書政策課 九州工業大学 シャボン玉石けん(株) (株)エコエナジー (一社)シーズンズ (一社)くらげれんごう	赤田篤史 林 英治 古市 真 芳賀裕之 権田幸祐 山崎 唯	
	③ 解決に向けて何ができるか	パネラー向けに参加者(技術士・一般参加者)から質問・応答・ディスカッション		

2024年 1月13日	技術講演①「福岡県知的財産支援センターと支援事例の紹介」	福岡県中小企業振興センター	高橋啓治	39 [web18] (6)
	技術講演②「小さな工務店におけるダイバーシティ経営の取組とDX戦略」	ゼムケンサービス	籠田淳子	
	技術講演③「機械電子研究所デジタル化実証支援ラボの取組・支援事例」	福岡県工業技術センター 機械電子研究所 所長	石田康弘	
2024年 2月10日	技術講演①「オープンイノベーションとスタートアップのためのエコシステムの動向～技術士への期待」	大分大学	松下幸之助	45 [web23] (7)
	技術講演②「下水道BCP(北九州市の事例)」	北九州市	疋田心平	
	技術講演③「西鉄グループにおける交通DXの取り組み」	西日本鉄道(株)	日高 悟	
2024年 3月9日	技術講演①「福岡県の中小企業への技術振興施策について」	福岡県商工部中小企業技術振興課 課長	野見山修治	42 [web18] (8)
	技術講演②「新たな水族館教育への挑戦 ～水族館は教育でしか生き残れない～」	海と博物館研究所	日高悟	
	技術講演③「中国・三峡ダム視察調査紹介(2004年)及び中国のその後の発展と日米との比較調査・考察」	末松技術士事務所	末松正典	

カッコ内は非会員の数

504人

#### 第一次・二次試験説明会の開催実績

	開催年月日	会場	参加者(人)		その他 特記事項
			会員 (正会員及び 準会員)	非会員	
第一次試験	2023年6月17日	北九州市環境ミュージアム Zoom 会議併用	39 (web 17)	9	会場+web 開催 申込用紙は各機関 へ郵送
第二次試験	2023年4月8日	北九州市環境ミュージアム Zoom 会議併用	61 (web 27)	11	会場+web 開催 申込用紙は各機関 へ郵送

## 2024(令和6)年度 CPD研鑽会開催実績

開催日	講演タイトル	所属・役職・部門	講師名	参加者数
2024/4/13 (土)	技術講演①「社会インフラと点検支援技術」	計測検査株式会社	山田 修司	53[web21] (10)
	技術講演②「公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおか IST)の紹介」	福岡県産業・科学技術振興財団(技術士:金属部門)	小野本達郎	
2024/5/11 (土)	技術講演①「エンジニアリング人材育成の未来」	九州大学 未来人材育成機構 教授	深堀 聡子	54[web25] (7)
	技術講演②「建設コンサルタントにおける働き方改革と生産性向上の取組み」	第一復建株式会社 DX 推進室	佐久間智恵	
	技術講演③「福岡大学における産学官連携とカーボンニュートラルの取組」	福岡大学 研究推進部 准教授	緒方 道子	
2024/6/15 (土)	技術講演①「生き物屋が見た小倉南区曽根干潟の生物多様性」～保全のための現状と課題～	日本カブトガニを守る会	高橋 俊吾	44[web12] (7)
	技術講演②「地中熱の現状とGXの取組みについて」	株式会社バイオテックス	原田 烈	
2024/7/13 (土)	技術講演①「ドラッグデリバリーシステム(DDS)研究開発の変遷」	(株)久留米リサーチ・パーク	赤尾 哲之	35[web15] (6)
	技術講演②「土木偉人・沼田尚徳技師に学ぶ技術者の魅力と矜持」-豊穡な社会の実現に向けて-(120分)	横浜国立大学 教授	松永 昭吾	
2024/9/14 (土)	技術講演①「ウォシュレットの技術進化の歴史について」	TOTO 株式会社	松井 実	51[web25] (9)
	技術講演②「世界の通学路、日本の通学路」	徳山高専 教授	目山 直樹	
	技術講演③「関門地域学」	下関市立大学 教授	砂原 雅夫	
2024/10/5 (土)	技術講演①「概要説明・施設見学(工場見学)」(120分)	(株)シャボン玉本舗	前田 博昭	25 (6)
	技術講演②「新規プラントの設計と現場実装 ～石けん工場ならではの難しさと工夫～」	シャボン玉石けん(株)製造部部長	古市 真	
2024/11/9 (土)	技術講演① 西日本工業大学における半導体プロセス DX 教育構想	西日本工業大学 工学部長 教授	有田 潔	39[web14] (8)
	技術講演② 太陽光発電の現状と工学的視点の課題	技術士(化学・総監)	小柳 嗣雄	
	技術講演③ アントレプレナーシップ教育～導入と推進～	北九州高専 特命助教	林田 龍也	
2024/12/14 (土)	第15回公開シンポジウム 「今、この地域で技術文化のパッションを繋げ!」～人口減少時代、自分のルーツを考え技術を伝える～ 第一部:問題提起「産学官の連携を通して若者が成長しながら幸せに暮らし続けることのできる地域を構築する」 第二部:産・官・民・技術士からの取組み紹介 第三部:パネルディスカッション	技術士:建設・総監 九州大学 教授 北九州市 産業経済局 シャボン玉石けん(株) 八幡駅前開発(株) 技術士:電気・電子	司会: 牟田英昭 深堀聡子 中川 茂俊 藤島 聡 井上 龍子 鶴田 靖孝	62[web16] (14)
2025/1/11 (土)	技術講演①「福岡県工業技術センターの概要・取組・支援事例」	福岡県工業技術センターセンター所長	吉海 和正	46[web18] (9)
	技術講演②「避けられない大規模自然災害への備え-災害対応の経験から-(北九州版)」	九州大学名誉教授 中村学園大学特任教授	星野 裕志	

	技術講演③ 「法規範と社会文化の交錯と相乗～欧州におけるビール・ワインから考える」	西南学院大学 教授	勢一 智子	
2025/2/11 (土)	技術講演① ワークショップによる市民と協働の公園づくり	北九州市役所・技術士(建設部門)	山脇 辰弥	38[web17] (5)
	技術講演② 九州シンクロトン光研究センターの施設ならびに利用事例の紹介	(公財) 佐賀県産業振興機構	妹尾 与志木	
	技術講演③ DX時代の製造業変革戦略	北九州高専 教授	久池井 茂	
2025/3/8 (土)	技術講演① 技術士(建設部門)の手掛ける地図情報	(株)ゼンリン・技術士(建設部門)	村山 貴裕	53[web28] (7)
	技術講演② 「科学的に日本刀を見る」～そのメカニズムの凄さと美しさ～	ZEZE 技術士事務所・技術士(金属部門)	瀬々 昌文	
	技術講演③ 遠賀川の流域治水と河川整備基本方針の改定について	九州地方整備局・技術士(建設部門)	古賀 忠直	

カッコ内は非会員の人数

500人

### 第一次・二次試験説明会の開催実績

	開催年月日	会場	参加者(人)		その他 特記事項
			会員 (正会員及び 準会員)	非会員	
第一次試験	2024年6月15日	北九州市環境ミュージアム Zoom 会議併用	44 (web 12)	7	会場+web 開催 各機関へは e-mail 送信
第二次試験	2024年4月13日	北九州市環境ミュージアム Zoom 会議併用	53 (web 21)	10	会場+web 開催 各機関へは e-mail 送信

## 2025(令和7)年度 CPD研鑽会開催実績

開催日	講演タイトル	所属・役職・部門	講師名	参加者数
2025/4/12 (土)	「パワー半導体とオール九州で創造したい未来の明るい九州」	三菱電機(株)	山田 順治	43[web22]
	「高圧巨大ひずみ加工を利用した難加工性金属材料の成形性改善」	博士(工学)	堀田 善治	
2025/5/17 (土)	「自然環境と社会環境の変遷(川づくりの歴史)」	建設/総合技術監理	松木 洋忠	50[web24]
	「リスクアセスメントに基づく自律的な化学物質の管理」	化学	池田 道弘	
	「地方都市の市街地再開発施設の持続性とマネジメントの課題」～日本の都市再開発データから見えてきたこと～	博士(環境学) MBA(経営学修士)	井上 龍子	
2025/6/14 (土)	「北九州高専生のロボコンへの挑戦」(ロボコン出場体験談)	北九州高専 3年	黒瀬 悠斗	39[web17]
	「知られざる消波ブロックの世界」	西日本工業大学 博士(工学)	松下 紘資	
2025/7/19 (土)	「若い技術士への伝言」：90分	金属	香月 俊幸	46[web22]
	「下を向いて歩こう～マンホールカードで伝えたい大切なインフラ～」：90分	博士(工学)、建設/総合技術監理	松永 昭吾	
2025/9/13 (土)	「光計測技術を活用したナビゲーション開発」	九州工業大学 博士(工学)	楊世淵 (ようせいえん)	49[web28]
	「ワンヘルスの取組とその目指す社会」	福岡県獣医師会	今村 和彦	
	「関門鉄道トンネルの歴史とこれから」	九州旅客鉄道株式会社	深江 良輔	
2025/10/10(金) 工場見学会	TOTO アクアテクノ株式会社 本社・小倉工場施設見学会(90分)	TOTO アクアテクノ(株)	福島 まゆみ	22
	「私たちの生活や産業に欠かせない表面処理技術」	金属/総合技術監理	河本 理之	
	「プロセスコンピュータシステム」～効率生産と生産統制のための生産プロセス制御(管理)～	情報工学/総合技術監理	野村 利則	
2025/11/8 (土)	「(公財)飯塚研究開発機構の取組み紹介」	公益財団法人 飯塚研究開発機構	谷川 義博	41[web20]
	「二酸化炭素の資源化技術:電気化学的アプローチ」	九州工業大学大学院 生命体工学研究科	高辻 義行	
	「流体可視化および熱流体シミュレーションを活用した製品開発支援」	機械電子研究所(機械技術課)	村田 顕彦	

### 第一次・二次試験説明会の開催実績

	開催年月日	会場	参加者(人)		その他 特記事項
			会員 (正会員及び 準会員)	非会員	
第一次試験	2025年6月21日	北九州市環境ミュージアム Zoom 会議併用	30 (web 11)	9 (web 6)	会場+web 開催 各機関へは e-mail 送信
第二次試験	2025年4月12日	北九州市環境ミュージアム Zoom 会議併用	35 (web 15)	8 (web 7)	会場+web 開催 各機関へは e-mail 送信